

■アメリカ空軍F-15戦闘機の開発経緯

F-4戦闘機の量産が軌道に乗る1965年、アメリカ合衆国は早くも次世代の戦闘機開発をスタートさせる。マクナマラ国防長官の肝入りで開発当初より空/海軍同一機種導入を模ろんだF-111計画は、運用構想の違う両軍双方の要求を採り入れたため重量増加を招き、海軍の離脱により頓挫していた。東西冷戦下にて仮想敵であるソ連の航空戦力が脅威となる中、空・海両軍はそれぞれが次期主力戦闘機の開発計画を連邦議会に提出。空軍案はFX(のちのF-15)、海軍案はVFX(のちのF-14)として承認・予算化された。

ベトナム戦争只中のアメリカ空軍は、対ミグ戦闘機との戦訓を基に圧倒的な性能差で航空優勢を維持できる戦闘機を必要とした。搭載レーダーの性能向上によるルックダウン/シュートダウンの能力を持たせ、またF-4戦闘機はミグ戦闘機に比べ重量が大きく鈍重であったため、推力重量比が1以上となるエンジンの開発を進めた。

開発が始められたF-15は、コックピットが機首上方に突出し下方死角の少ない操縦席と、胴体でも揚力を発生させる「リフティングボディ」形状を採用した。主翼はコニカルキャンパーと呼ばれる翼断面の底面が湾曲したデザインを採用することで前縁フラップを不要とし、スポイラーは装備せず従来の動翼を採用したことで軽量化を実現した。胴体の一部にチタン合金や複合材を用いたことも軽量化に大きく貢献している。

米海軍F-14と比較されることが多いF-15だが、開発時の運用構想が異なるため安易に比べられない。F-14が持つ複雑な機構の可変後退翼や火器管制装置は高コスト体質から脱却できず2006年に全機退役したことにに対し、F-15は現在も多くが現役で発展型の生産が続けられていることは、軽量で単純な構造を追求したF-15の開発に専事した技術者の方向性は間違いなかったといえる。

F-15(試作)1号機は1972年7月27日に初飛行し、複座型2機を含む20機が各種試験に供された。単座試作型1~8号機および複座型1・2号機は主翼端形状が基線軸と並行であったが、激しいバフェット(空気の乱れによる振動)が発生するため試作初期段階から現在の形状に変更された。スビードブレーキが現在の面積の約半分まで最大展開角も大きかったが、減速効果が低いため面積を倍増し、展開時の角度を減じることで解決した。

■F-15Cへの改良

F-15Cは、初期生産型であるF-15Aの改良型として1978年から配備が始まった機体である。コンフォーマル・フェュエル・タンク(CFT)を装備し搭載燃料を2000ポンド(約908kg)増し航続距離を延長。燃料増による重量増加により主車輪のホイール形状が変更された。

またF-15Cでは主翼端および垂直尾翼端にAN/ALR-56レーダー警戒装置を装備する。レーダー警戒装置は、情報収集機などが日頃から収集した電子情報をF-15の電子機器にスレット(脅威)情報として書き込むことで、パイロットは向けられたレーダー波が敵機から狙われているか友軍なのかを認識できる。

左垂直尾翼端にはAN/ALQ-128のアンテナが装備されているが、1991年以降にF-15Cのみがアップグレードされ、レドーム直後の機首上下面にアンテナが追加された。これは敵からの電子妨害を探索する機能があるが、アメリカ政府が輸出を許可していないため他のF-15使用国で装備した機体はない。そのほか座席後部の電子機材室にはAN/ALQ-135に関する電子機器収納箱が左壁面に6台設置されている。これは対地および対空用電子妨害装置で、1990年代に右垂直尾翼基部から延びる機体後端(アウトリガー)に後方用アンテナを追加している。F-15Cでは、これら電子機器を統合して自動で運用できるようにされており、パイロット1名での操作に支障が出ないようにシステム化されている。

1991年からは中距離空対空ミサイルのAIM-120AMRAAM(通称アムラーム)の運用が始まり、米空軍では運用するすべてのF-15Cに改修が施された。胴体下面の両端にAIM-7スパーロー空対空ミサイル用に設置されているAN/LAU-106ミサイルランチャーには、AIM-120専用のアンビリアル・コネクターが増設されている。また、翼下パイロン左右に取り付けるレール式ランチャーも赤外線誘導のAIM-9サイドワインダーシリーズ短距離ミサイルのみを運用できるAN/LAU-114からAIM-120と共用できるAN/LAU-128に更新され、ランチャー取付アダプターは全長の短いAN/ADU-552に変更された。

■MSIP

F-15CにはMSIP(多段階性能向上計画)の概念が生産途中から導入され、火器管制装置・セントラルコンピューター・電子戦装置・新型空対空兵器の運用能力付与などの改修を段階的に進めてきた。F-15Cの外観からこれら改修状況を確認するのは難しいが、AN/AIM-9Xミサイルの搭載改修がおこなわれた機体には、ヘルメット・キューイング・システム(ヘルメットへの情報表示装置)の導入により変更されたパイロットの装備で確認できる。

この改修と平行して火器管制装置をAN/APG-63v3と呼ばれるフェイスドアレイレーダーに換装する計画が進められた。フェイスドアレイレーダーは従来型レーダーと違いアンテナ面は動かさず、電気的な位相差により照射方向を機械的に変化させることが出来る。イージス艦のレーダーと同じ原理で、多機能同時処理能力や搜索・探知・追尾のためのビームを簡単に変更できるなどの長所があり、

これらは航空自衛隊のF-2戦闘機で初めて実用化された日本の技術を応用している。

細かな機体の改善や改修は引き続き進められており、外見にも若干の変化がある。これらの改修はストライク・イーグルの開発時に大きく前進し、F-15C/Dに対しF-15Eストライク・イーグルの改修を適用した機体も少なくない。最も大きな変化が、アレスティングフックを収納するフェアリングの撤去である。これはF-15Eの開発でフックを収納するフェアリングが廃止されたことを受けての処置で、米空軍F-15C/Dだけでなくとどまらず、航空自衛隊のF-15J/DJにも適用されている。そのほかオールドレンのフェアリングが撤去、コックピットのレーダー警戒受信装置のディスプレイが角形に変更されるなど、改善は今後も続けられていく。

2023年の時点で、F-15Cは配備から既に45年を超えてなお米空軍最強の戦闘機として君臨したが、一線部隊からの退役が続き終焉が近づいてきた。かつて戦闘機は20年飛ばすスクラップになったことを考えると、驚異的に頑丈な戦闘機である。2000年代に入りF-15を擁する主力戦闘飛行隊はF-22へと機種変更され、次いで他の部隊でもF-35戦闘機が増えるのに反比例する形でF-15はANGを含む空軍全体で減数されている。それでもF-15が塗り替えてきた輝かしい記録は、ステルス戦闘機全盛となる将来も破れるには相当の時間がかかるものと思われる。

1960年代に設計し1970年代から飛び始めた戦闘機が、2022年からはF-15EXとして生産が続くことは、設計はもちろん運用者であるアメリカ空軍の日々積み重ねてきた努力の結果であろう。F-15シリーズが世界の空から引退するには、まだ数十年かかるであろう。

■「沖縄の“ZZ”」

沖縄・嘉手納基地をホームベースとして駐留したF15運用部隊、第44/第67戦闘飛行隊(FS)が、F-35への改修のため2023年にアメリカ本土へと移動した。両飛行隊が所属した太平洋航空軍第18航空団(18WG)は、朝鮮戦争終了後沖縄に駐留し、ベトナム戦争中はタイのコラート基地で任務に従事した。

F-4Dを運用していた44FS・67FSはともに1971年に嘉手納基地へ戻るが、1979年以降に順次F-15に機種転換し、40年以上にわたり極東の軍事的プレゼンスを誇示した。

尾翼には空軍の識別記号としてアルファベットを部隊に振り分けた「テイルコード」が記される。18WGとして付されたZコードから隷下の各飛行隊がZA、ZRなどと分けられたが、後に各部隊すべてがZZへと統一された。Zが付された理由は極東(=アメリカにとって)の「最後」だから、など諸説があるが真偽は不明である。

パーツリスト

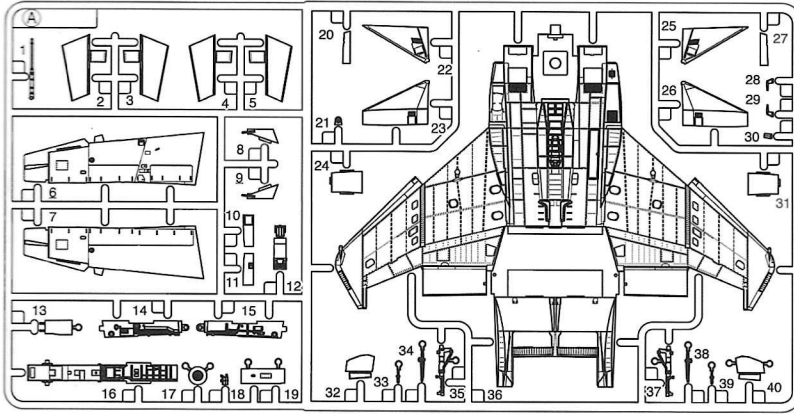
パーツを切り離す前に下の図と各ランナーを見比べ、パーツの不足や破損がないかを確認してください。

Check the contents missing or/and defective shape with reference to the parts drawing shown below.

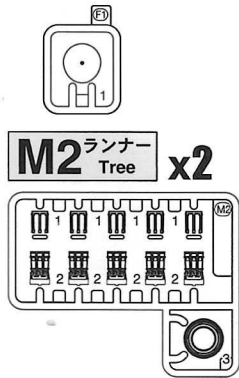
部のパーツは使用しません。

Parts not for use.
Nicht verwenden
Non utilisés

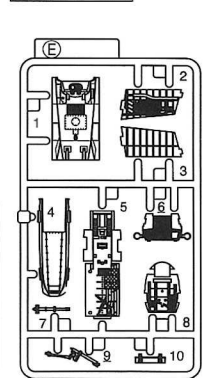
A ランナー Tree



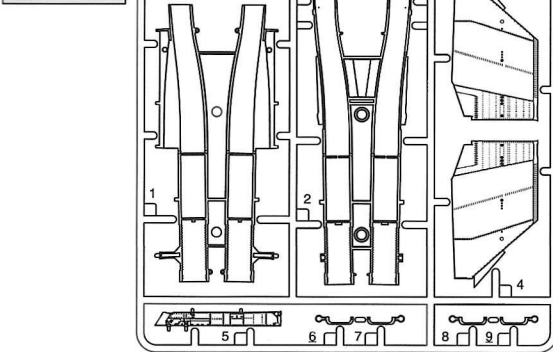
F1 ランナー Tree



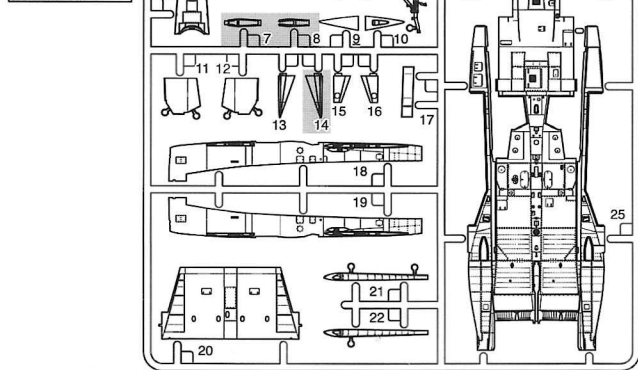
E ランナー Tree



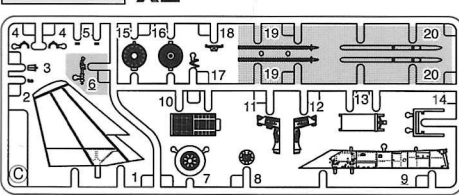
B ランナー Tree



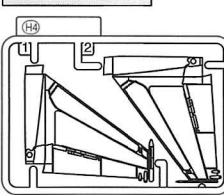
D ランナー Tree



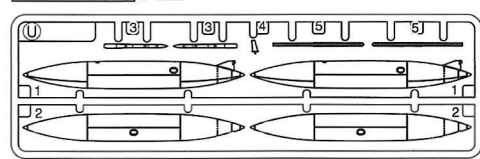
C ランナー Tree x2



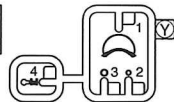
H4 ランナー Tree



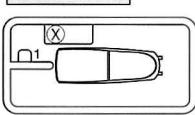
U ランナー Tree x2



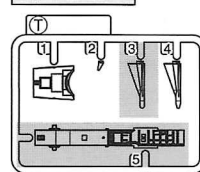
Y ランナー Tree



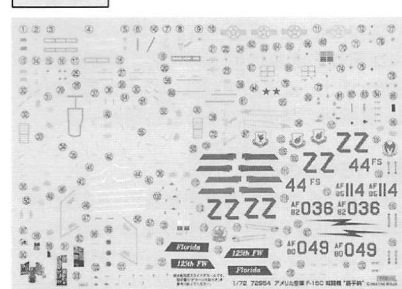
X ランナー Tree



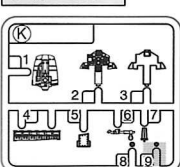
T ランナー Tree



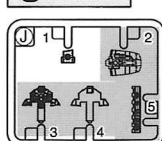
デカール Decal



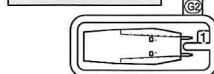
K ランナー Tree



J ランナー Tree



G2 ランナー Tree



※製造には万全の注意を払っておりますが、万一製造上の不良部品が内包した際はご購入日とご購入店様名をお書き添えの上、不良箇所を撮影した画像を電子メールで、または不良部品の写真を郵送にて当社へお送りください(製品全てをお送り頂く必要はございません)。代替部品と送料分の切手をお送りします。〒441-3301 愛知県豊橋市老津町場53-2 (有)ファインモールド

作る前にお読みください

- この製品は組み立てモデルです。あらかじめ本説明書の全工程に目を通し、組立工程ごとにイラストを見ながら部品の取り付け位置を事前に確認して組み立て作業を進めてください。
- 本製品には接着剤と塗料は付属していません。プラスチックモデル専用の接着剤と塗料を別途お買い求めください。
- カッターナイフや模型用ニッパー、ピンセット、ピンバイス(ドリル刃0.6mm、1.2mm.)をご用意ください。
- 各部の塗装はGSIクレオス・Mr.カラーの番号を□内の数字で、続けて色名を表示しています。水性ホビーカラーやアクリジョン、タミヤカラーやガイアカラーを使用する場合は、「カラーナンバー対応表」を参照ください。

This is an unassembled model kit. Read carefully and fully understand the instructions before commencing assembly. Check the position of the installation before installing parts following the illustration. Cement and paints are not included in the kit. Side cutters, modeling knife, and tweezers, and pin vise with 0.6mm, 1.2mm bits, are also required for assembly. Please carefully use tweezers for the installation of small parts. The boxed numbers in each illustration refer to the number of "Mr.COLOR" from GSI Creos. Please also check the color reference.

注意 ちゅうい

本製品は玩具ではありません。対象年齢15歳以上の組み立てモデルです。作る前にこの組立説明書をよくお読みください。

1. 部品を取り出した後のビニール袋は放置しないでください。子供が頭から被ったり飲み込むと窒息の恐れがあります。
2. 部品はきれいに切り取り、切り取った後の不要部分や切り取りクズは部品の入っていたビニール袋と共に「プラスチックごみ」として、お住まいの地域のルールに従って処分してください。
3. 尖っている部品があります。お子様の手の届く所に放置しないでください。他の用途には絶対に使わないでください。
4. 特に小さいお子様のいる家庭では部品や部品切り取り後の不要部、ビニール袋等を誤って飲み込まない様に注意してください。小さなお子さまが側にいる、もしくは出入りする環境での作業や放置はおやめください。
5. 組み立ての際、ニッパー・ナイフ等を不用意に扱うと刃先で怪我をする恐れがあります。注意してください。
6. 接着剤、塗料を使用する場合は下記に注意してください。
 - 中毒の恐れがあるので閉めざった室内では使用しない。●引火の恐れがあるので火の近くで使用しない。●接着剤・塗料は目や口に入れない。誤って入れたときはすぐに大量の水で洗い流し医師に相談すること。
7. 工具・接着剤・塗料等を使用する前には、それぞれの説明書に記載の注意事項をよく読み、正しく使用してください。

CAUTION MAKE SURE TO READ THE INSTRUCTIONS BEFORE ASSEMBLING.

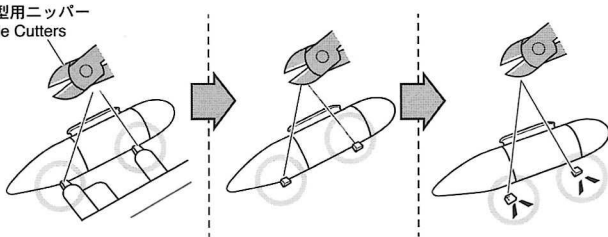
THIS IS NOT A TOY! This model kit is suitable for age 10 to adult. When assembled by children aged 14 or younger, it is recommended that an adult, who has read the instructions, supervise the process.

1. This is an unassembled kit. Read the instructions before assembling.
2. Tear up and discard the plastic bags containing kit parts as children may accidentally hurt themselves by swallowing or suffocate by putting the bags over their head.
3. After preparing the parts by cutting, please dispose of the waste properly.
4. Don't play with the parts because some parts have sharp points. Exercise caution and care when assembled with infants in nearby vicinity.
5. Keep all parts out of reach of small children. Children must not be allowed to put any parts in their mouth, or pull plastic bags over their head (risk of suffocation).
6. Assembly involves the use of, tools including knives. Extra care should be taken to avoid personal injury.
7. Take the following precautions when using adhesives and / or paints: Don't use in a closed room to avoid poisoning / intoxication. Don't use near fire (risk of flammability). Avoid contact with either your eyes or mouth. In case of accidental contact, rinse with large amounts of water and consult a doctor.
8. Read and follow the instructions supplied for the tools, the cement and the paints when used for assembly.

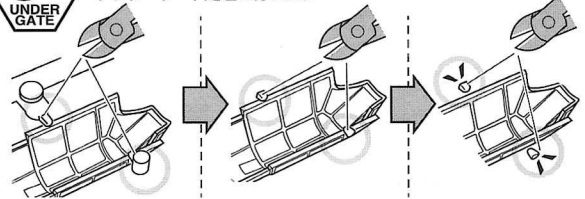
■パーツの切り取り方 To remove parts from tree

※ランナー(枠)から各パーツを切り離した際に突起が残った時は、カッターや模型用ヤスリ等で取り除いてください。

模型用ニッパー
Side Cutters



●部番に左記アイコンが併記された部品はアンダーゲート処理を行います

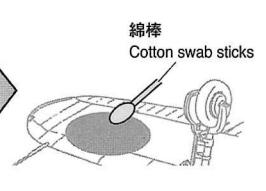
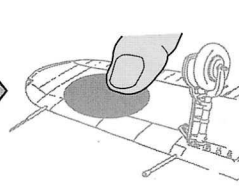
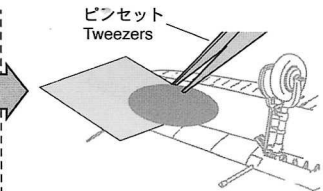
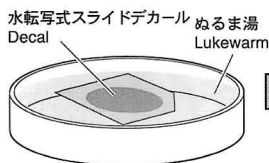


■水転写式スライドデカールの貼り方 Decal Application



1. 1回に必要なマークのみを台紙と共にハサミで切り抜きます。
2. 切り出したマークを10秒から20秒程度ぬるま湯に浸してから引き上げます。
3. 貼りたい位置にマークを台紙ごと移動し、マークをずらしてモデルに移します。
4. 濡らした指などでずらしながら正しい位置に動かします。
5. 位置が決まったら、柔らかい布や綿棒などで気泡と水分を押し出すようにマークを固定します。(力を入れすぎるとマーク全体が移動するの注意)
6. 曲面や凹凸部にマークを密着させる際は、GSIクレオス製 Mr. マークソフターを使用し、綿棒などで慎重に作業します。貼ったマークは乾いて固着するまで触れないでください。(マークソフター本体の取扱説明も参照ください)

1. Cut off each decal mark from the sheet.
2. Dip the mark into lukewarm water for about 15 seconds.
3. Place the mark in position, and slide it off the base paper and onto the model.
4. Move decal into position by wetting the decal with finger.
5. To push out excess water and air bubbles under mark, Press the decal gently with a soft cloth or cotton swab sticks.
6. Use a hot steaming towel or decal softener to mold decal over sculpted or nonflat surface.
7. Do not touch the decal until it has become dry and firmly attached to model.



ディテールアップ パーツ(別売り)

※価格は販売店様へお問い合わせください

DETAIL-UP PARTS
NOT INCLUDED,
SOLD SEPARATELY

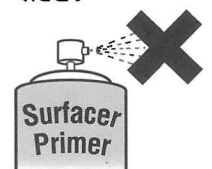


別売りのディテールアップパーツを取り付ける場合は、組立図中に左記マークのある段階でおこないます。取り扱い方法の詳細はディテールアップパーツ製品に封入された組立説明書を参照してください。

Installs Detail-Up Parts at the step indicated the left mark if you would like to do.

■注意

サーフェイサー/プライマーの使用はお控えください

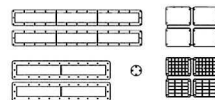


パネルライン、リベット等の繊細な彫刻がサーフェイサーにより埋もれる可能性があります。

現用機用シートベルト 2
(F-15・F-16)
(プラスチックパーツ)
製品番号: NA8



フォーメーションライトセット
(F-15用)
(プラスチックパーツ)
製品番号: NA16



Formation light and Chaff / Flare dispensers for F-15 jet fighter
(Plastic parts)
ITEM No. NA16

Modern Aircraft Seatbelt Set #2 for F-15, F-16 Series (Plastic parts)
ITEM No. NA8

↑ 接着します
Glue
Kleben
Coller

↑ はめ込みます
Fitting
Anprobe
Aller

⊘ 接着しません
Don't glue
Nicht kleben
Ne pas coller

✂ 切り取ります
Remove
Entfernen
Enlever

⊕ どちらか選びます
Optional
Wahlweise
Facultatif

0.0 mm
穴を開けます
Make a hole
Loch bohren
Fare un trou

UNDER GATE
アンダーゲートを処理します
Remove under gate
Entfernen unter den Toren
Enlever sous les portes

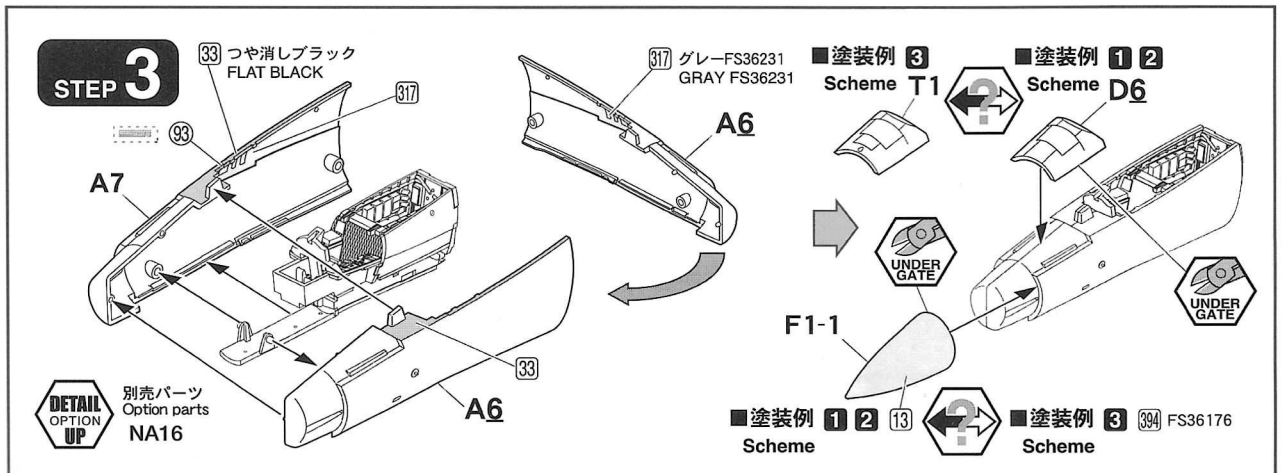
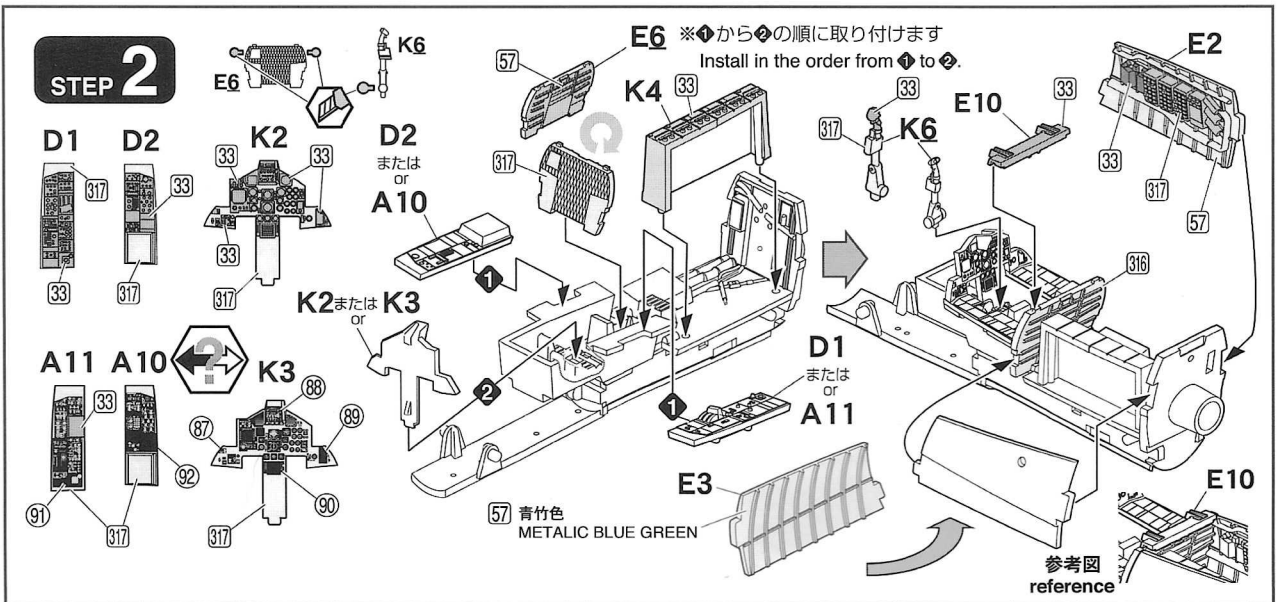
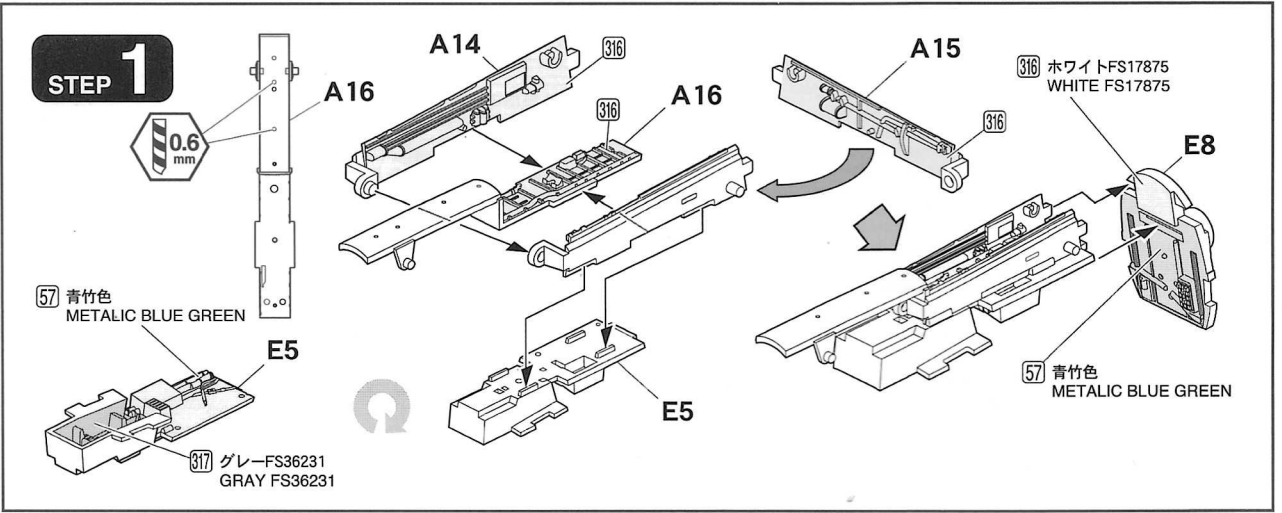
けがをしないように
Not to get hurt
Um nicht zu verletzen
Afin de ne pas blesser

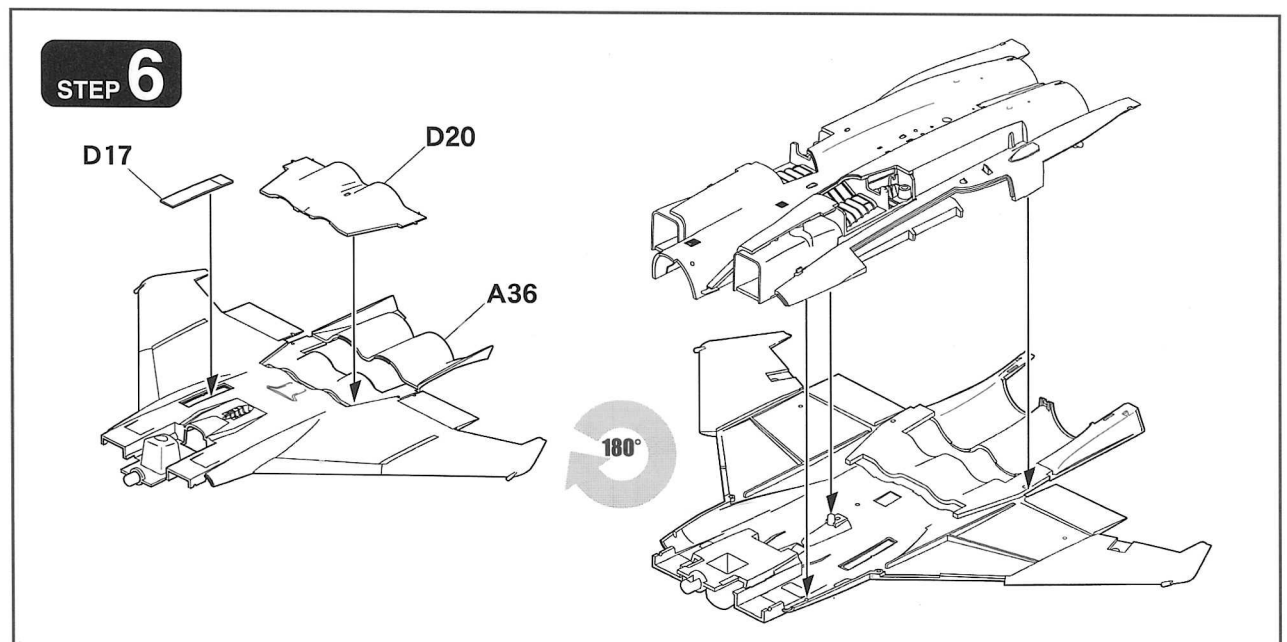
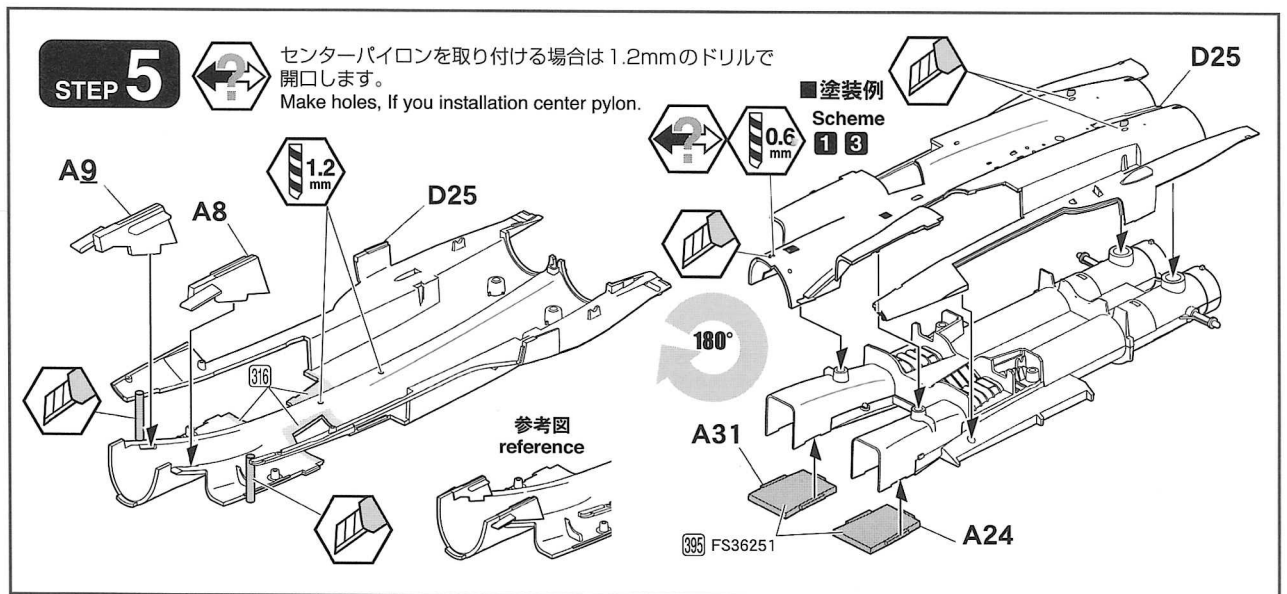
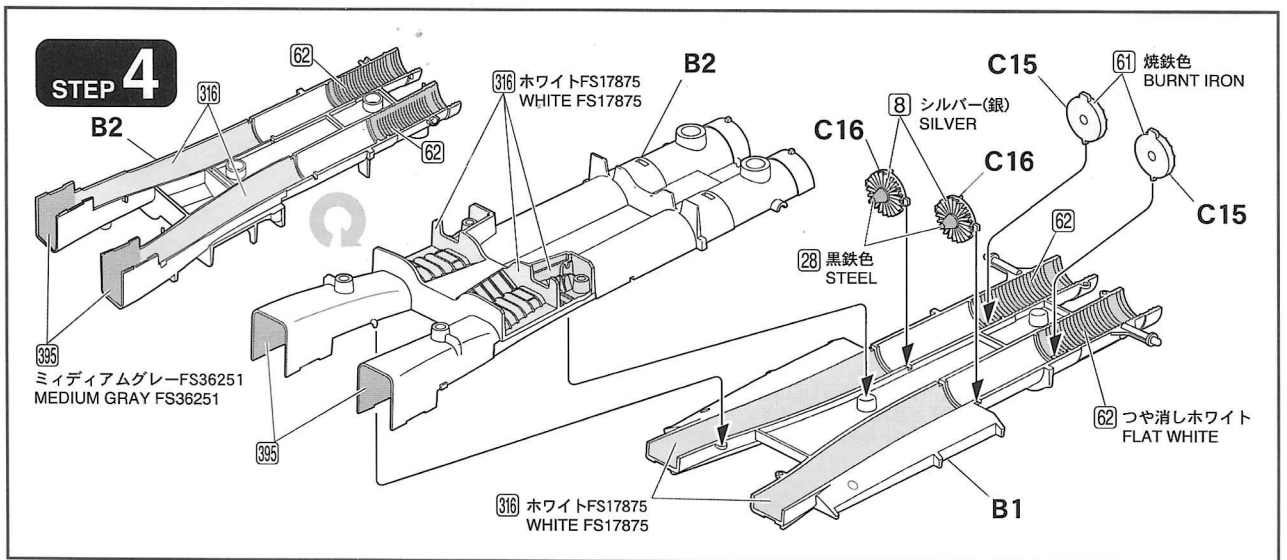
CYANOACRYLATE
瞬間接着剤を使用します
Use Cyanoacrylate (Superglue)
Sekundenkleber
Colle rapide

⚠ 注意します
Attention
Aufmerksamkeit
Faire attention

○ 数字で指示した水転写デカールを貼ります
Number of decal to soak and apply
Abziehbild in Wasser einweichen und anbringen
Mouiller et appliquer les décalcomanies

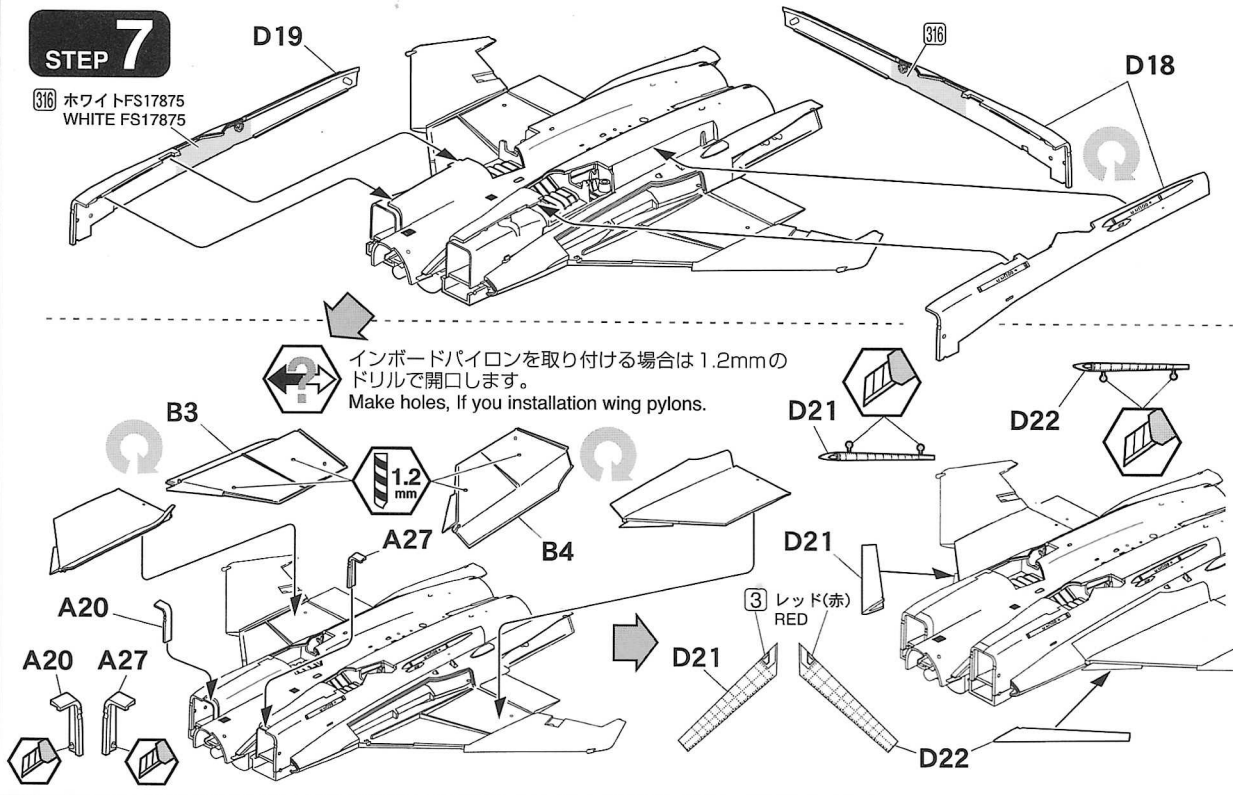
組立図中で塗装指示の無いものは「塗装とマーキング」ページで説明する機体色で塗装します。 Paint all parts body color except other color is specified.





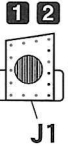
STEP 7

316 ホワイトFS17875
WHITE FS17875

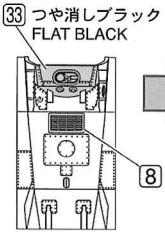
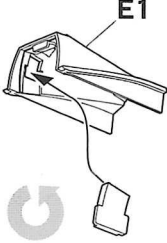
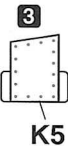


STEP 8

■ 塗装例
Scheme

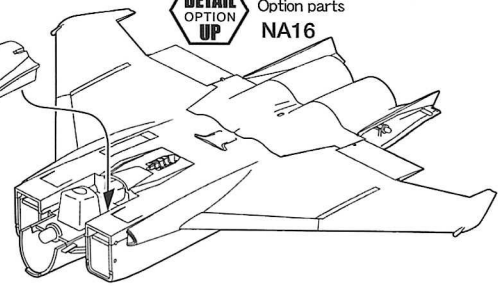


■ 塗装例
Scheme

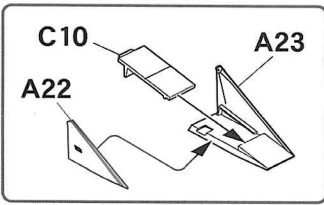
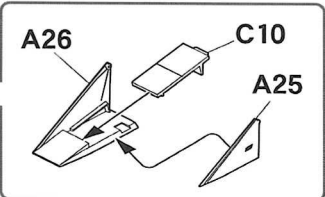
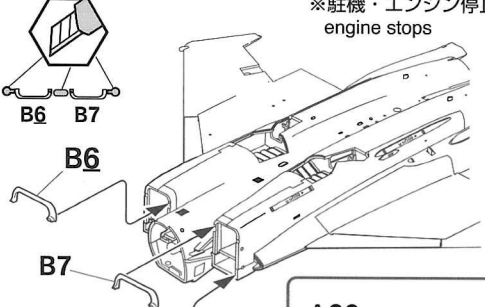
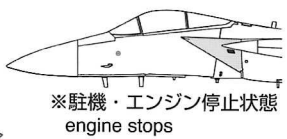


8 シルバー(銀)
SILVER

別売パーツ
Option parts
NA16



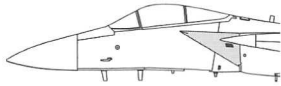
STEP 9



395 ミディアムグレー-FS36251
MEDIUM GRAY FS36251

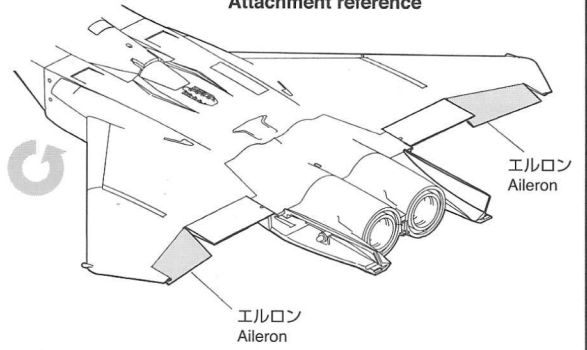
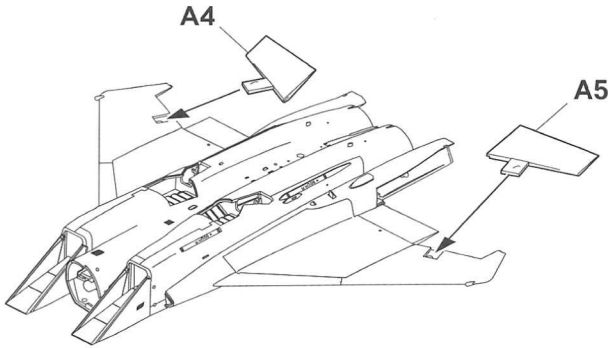
395 ミディアムグレー-FS36251
MEDIUM GRAY FS36251

STEP 10

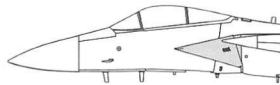


※駐機・エンジン停止状態
engine stops

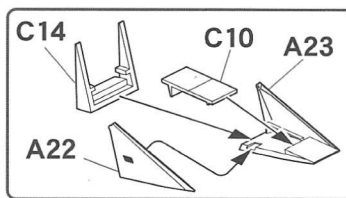
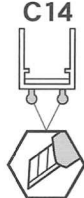
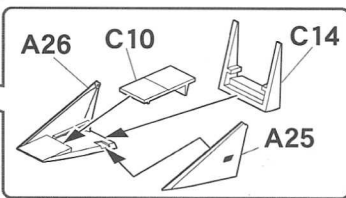
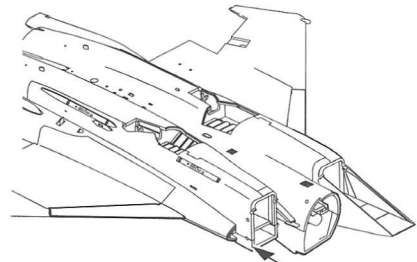
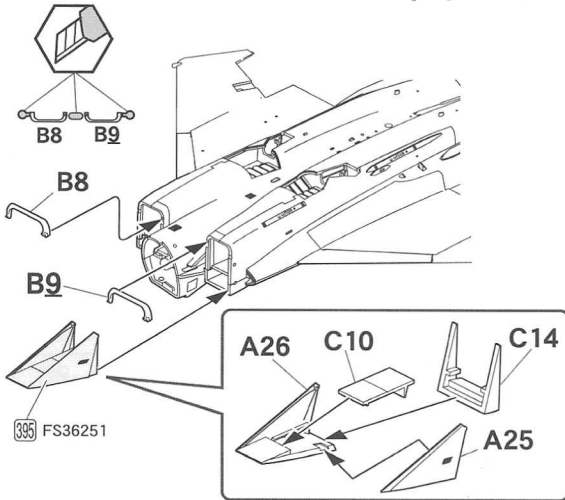
取り付け参考図
Attachment reference



STEP 11



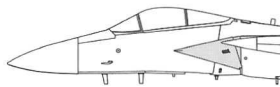
※駐機・エンジン可動状態
engine running



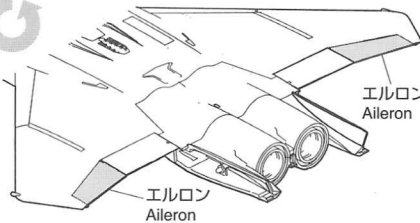
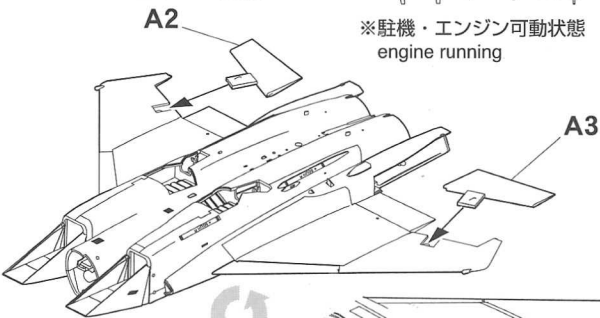
395 FS36251

395 FS36251

STEP 12

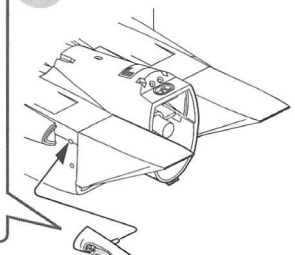
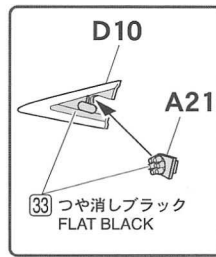
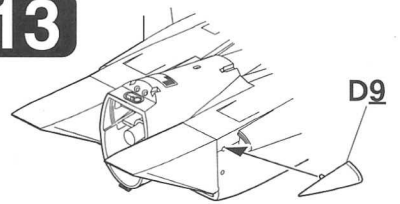


※駐機・エンジン可動状態
engine running



取り付け参考図
Attachment reference

STEP 13

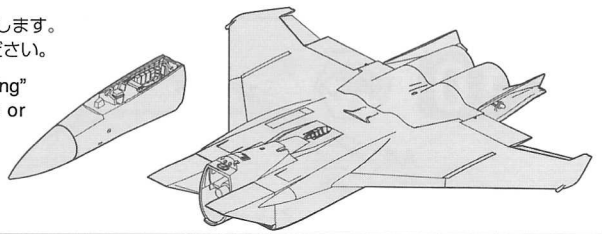


33 つや消しブラック
FLAT BLACK

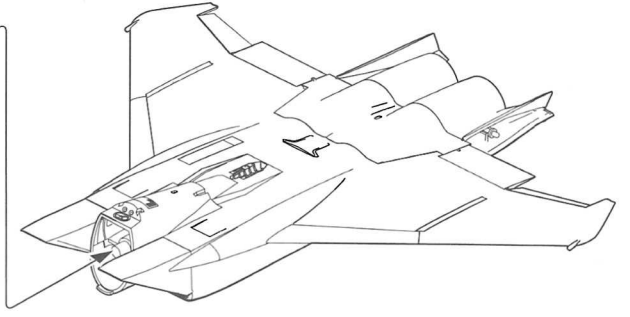
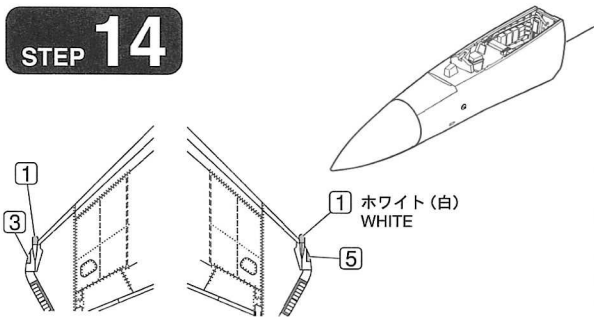
33 つや消しブラック
FLAT BLACK

ここまで組み立てた段階で、巻末の「塗装とマーキング」を参考に機体全体を塗装します。
スプレー・エアブラシ等の吹き付け塗装の際は、塗装済み箇所をマスキングしてください。

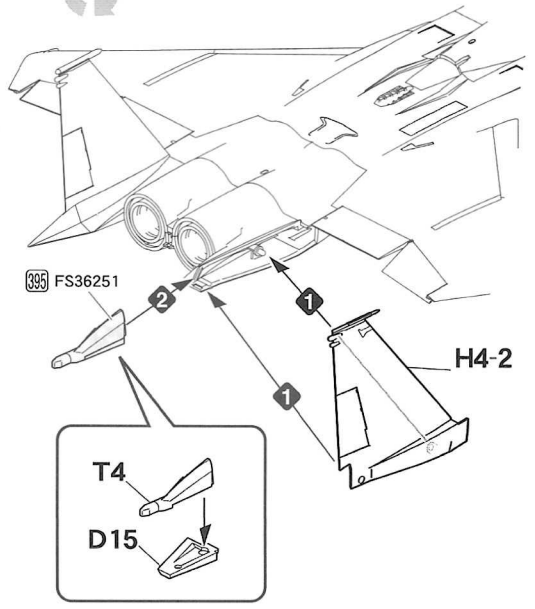
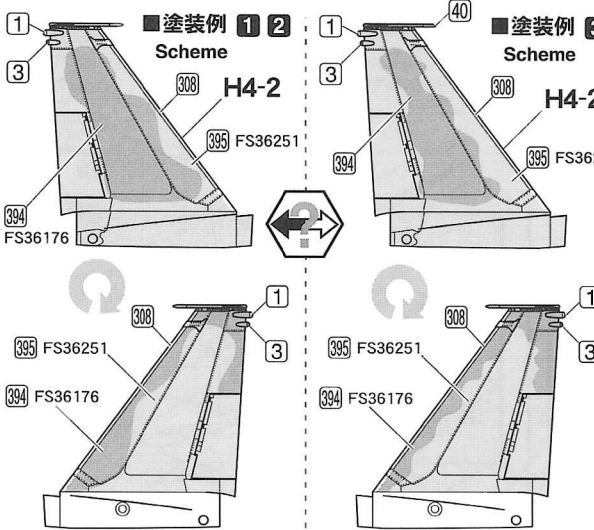
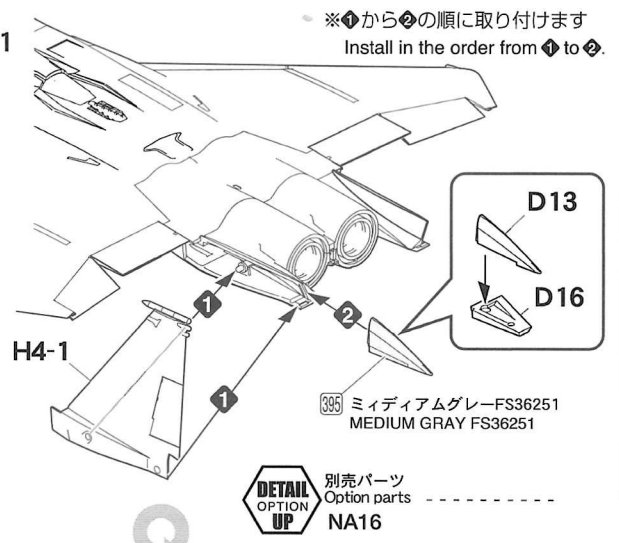
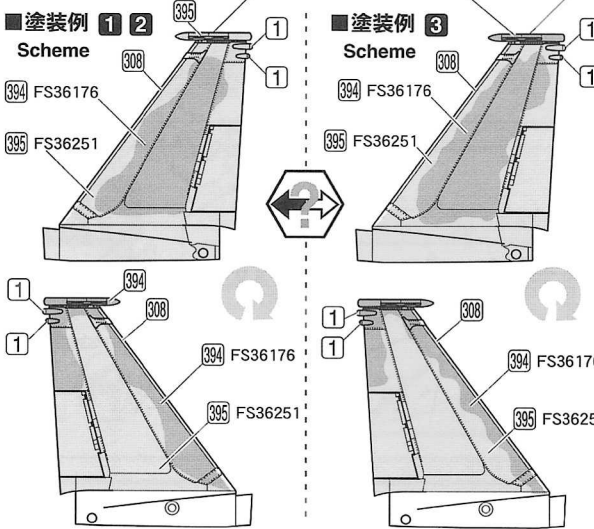
At this point, you should paint the entire aircraft using the "Painting and marking" shown at the end of this instruction. If you are employing spray paints or airbrushes, then mask portions that have already been painted previously.



STEP 14

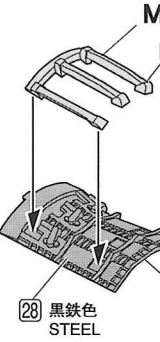
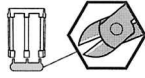


STEP 15



STEP 16

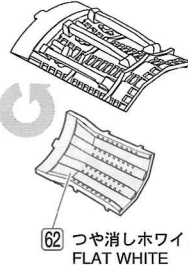
M2-1



M2-1

61 焼鉄色
BURNT IRON

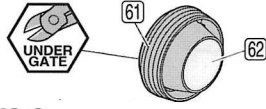
x10 10個作ります
Make 10 pieces



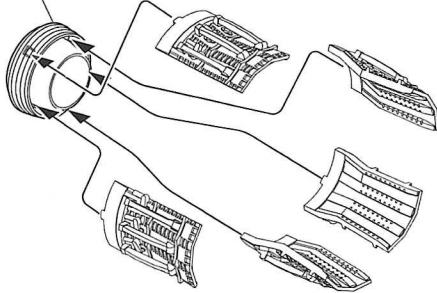
M2-2

28 黒鉄色
STEEL

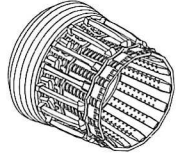
62 つや消しホワイト
FLAT WHITE



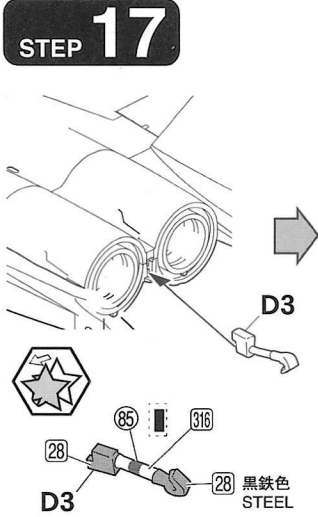
M2-3



x2 2個作ります
Make 2 pieces



STEP 17

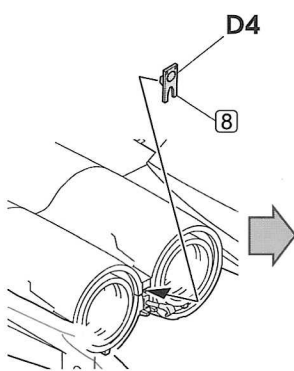


D3



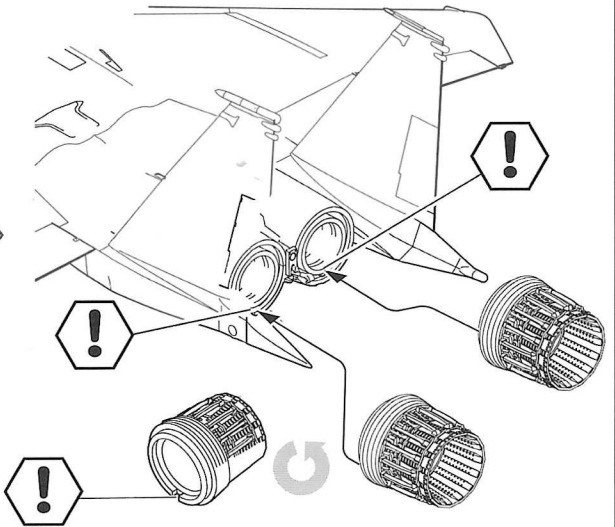
85 316

28 黒鉄色
STEEL

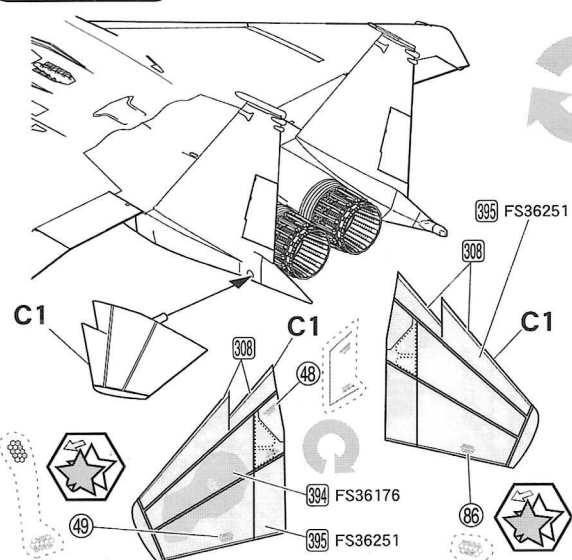


D4

8



STEP 18



C1

C1

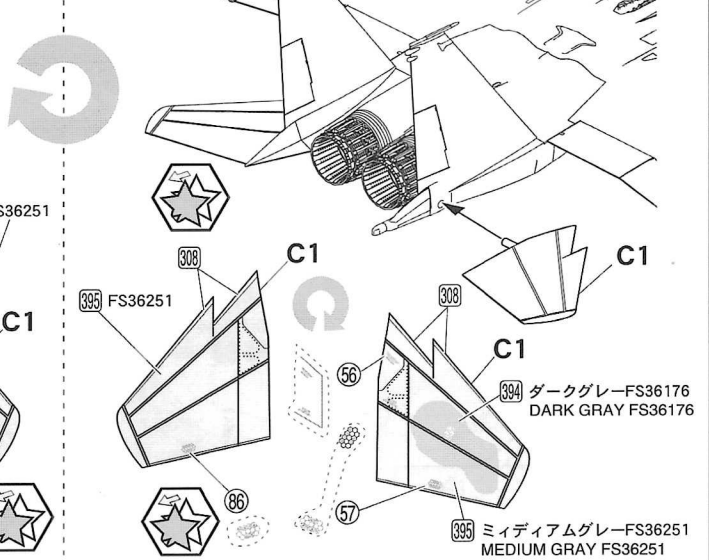
308

394 FS36176

395 FS36251

48

86



C1

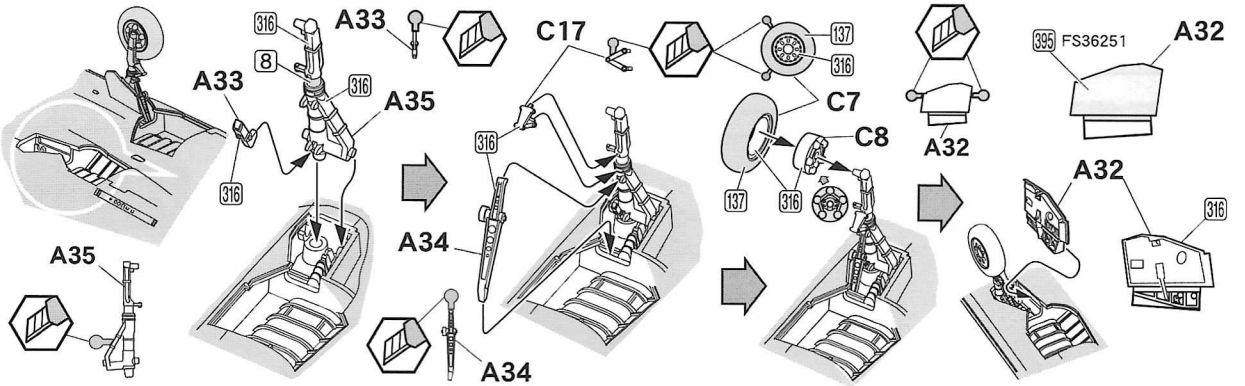
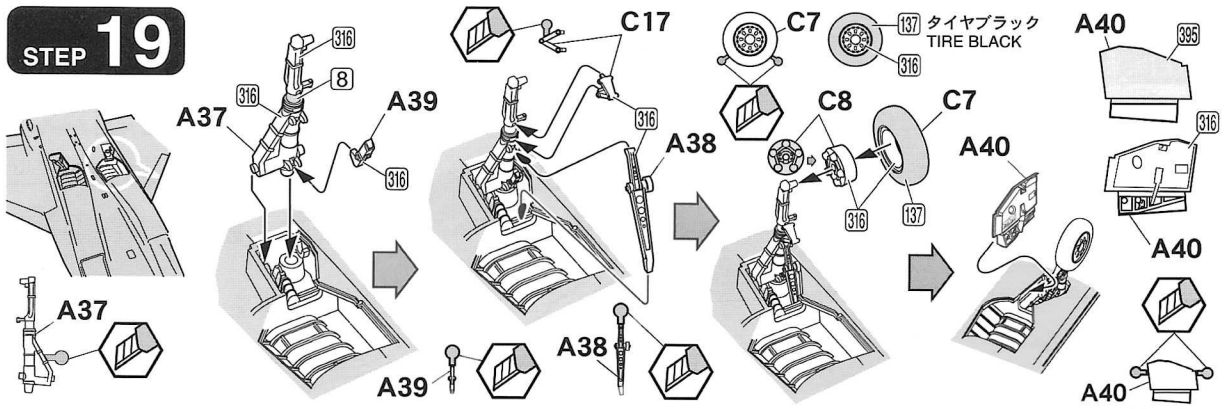
C1

308

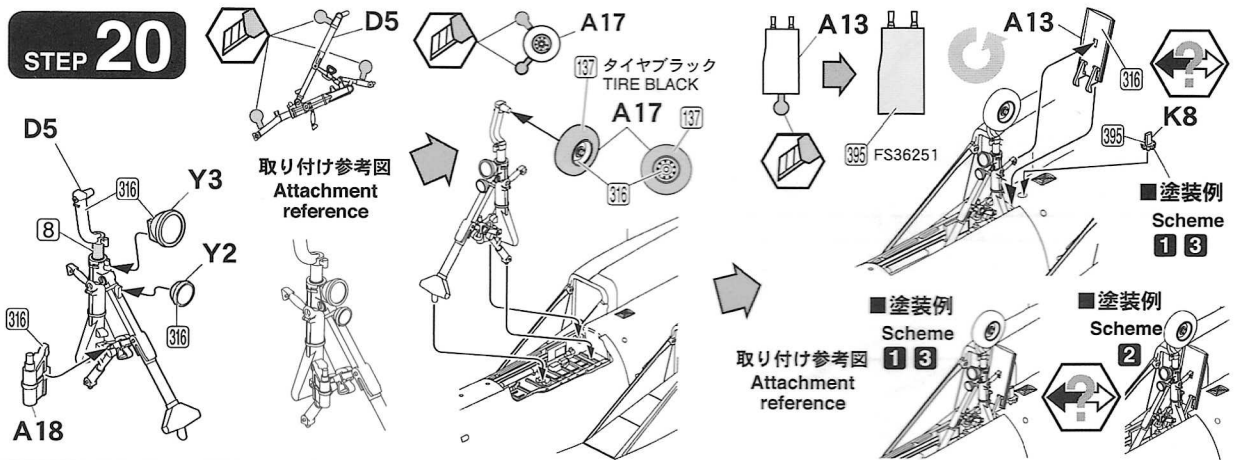
394 ダークグレー-FS36176
DARK GRAY FS36176

395 ミディアムグレー-FS36251
MEDIUM GRAY FS36251

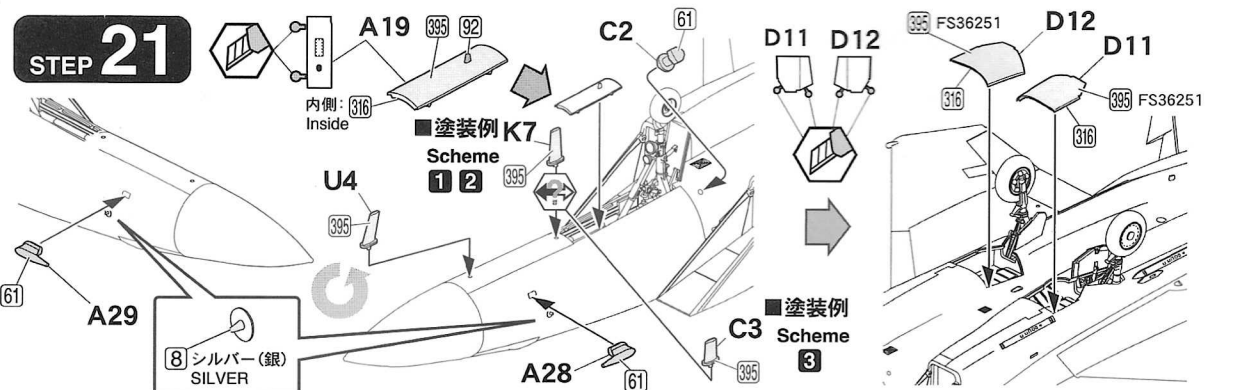
STEP 19



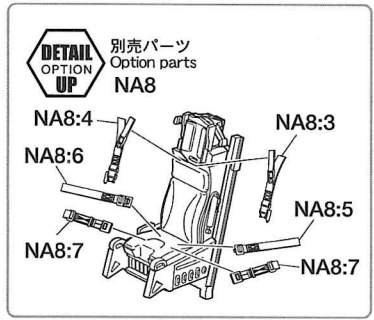
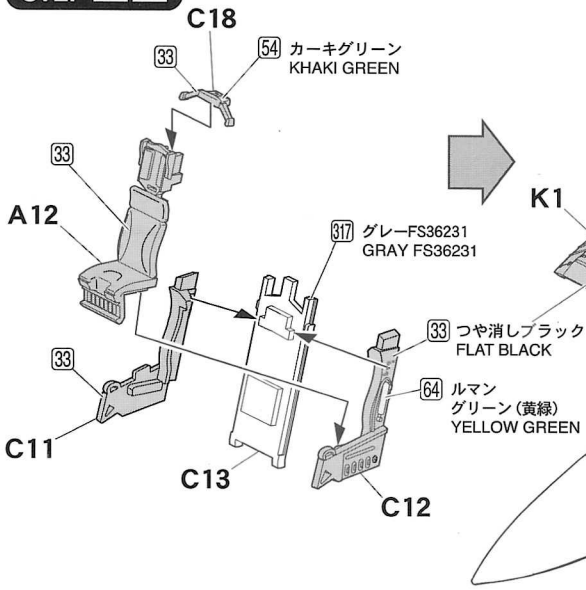
STEP 20



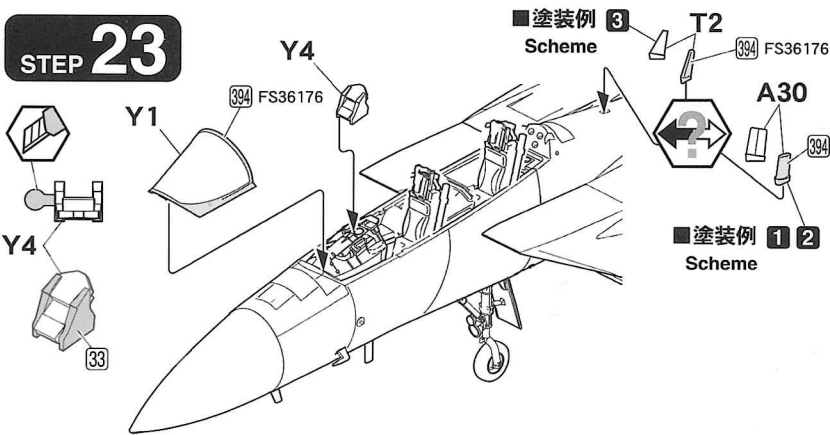
STEP 21



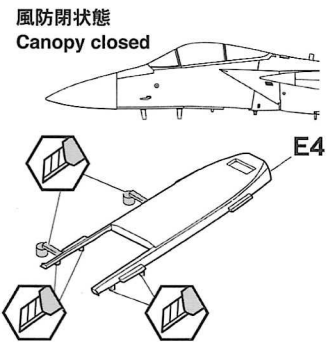
STEP 22



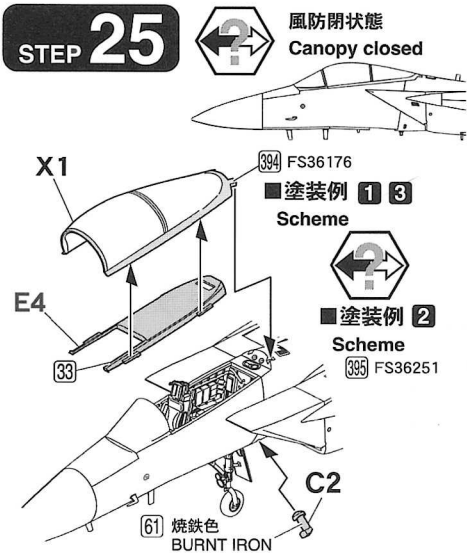
STEP 23



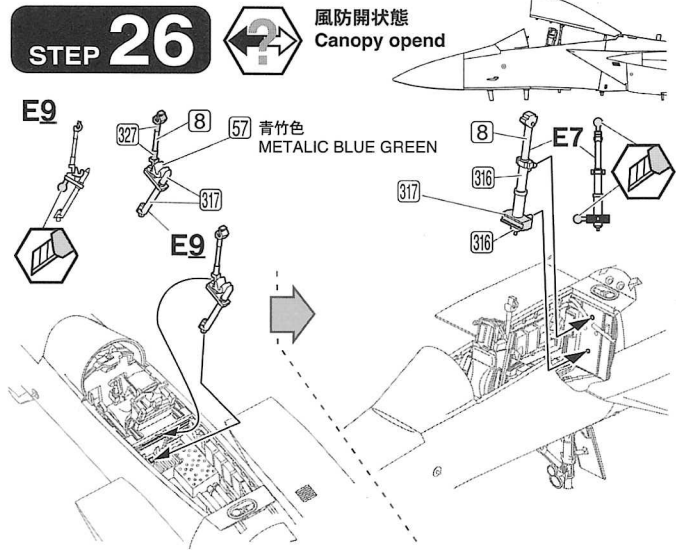
STEP 24



STEP 25



STEP 26



STEP 27



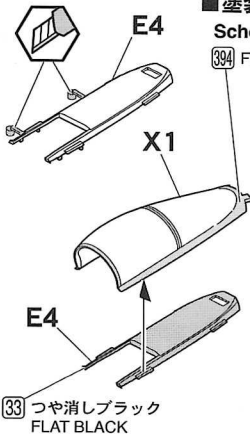
風防開状態
Canopy open

■塗装例 1 3
Scheme

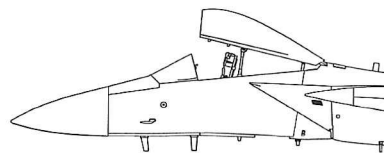
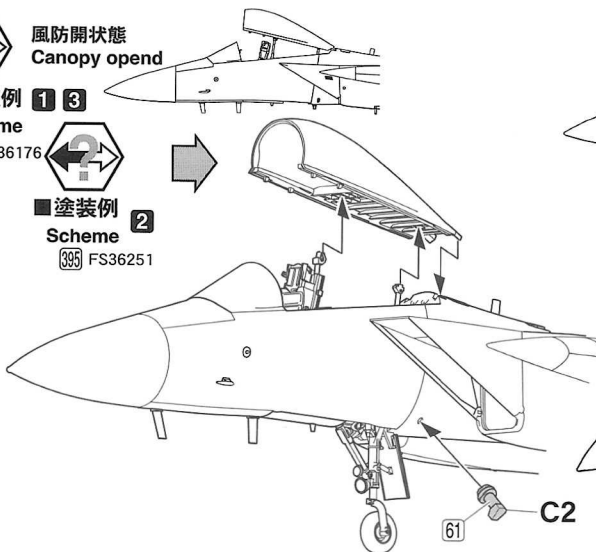
394 FS36176

■塗装例 2
Scheme

395 FS36251



33 つや消しブラック
FLAT BLACK



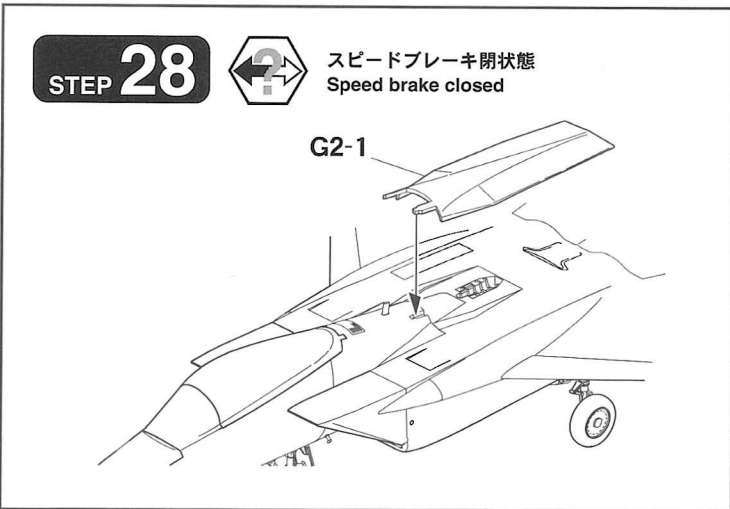
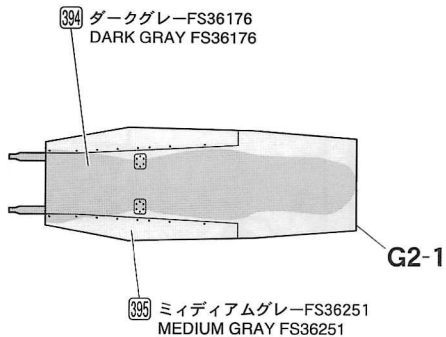
取り付け参考図
Attachment reference

次に進む前に、下図のとおりパーツG2-1の塗装を済ませます。
Paint part G2-1 before proceeding to the next step.

STEP 28



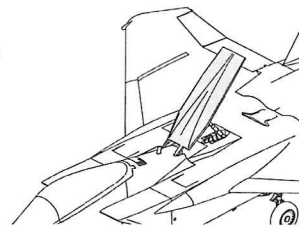
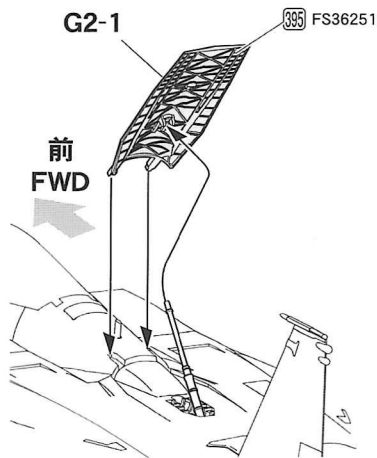
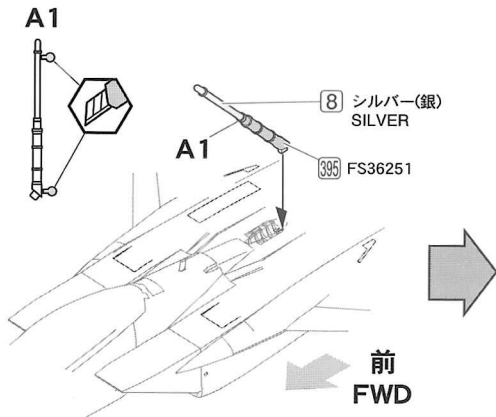
スピードブレーキ閉状態
Speed brake closed



STEP 29



スピードブレーキ開状態
Speed brake open

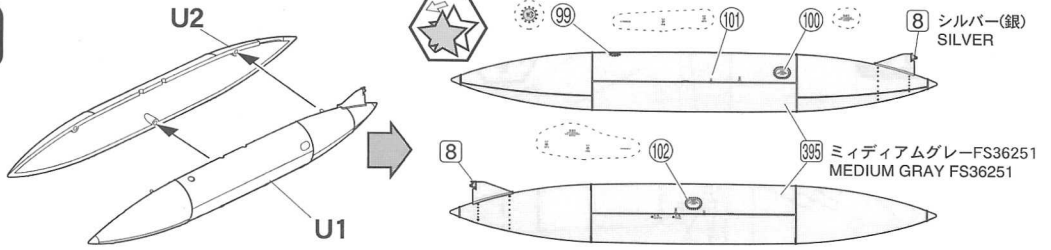


取り付け参考図
Attachment reference

STEP 30

燃料タンク
Fuel tank

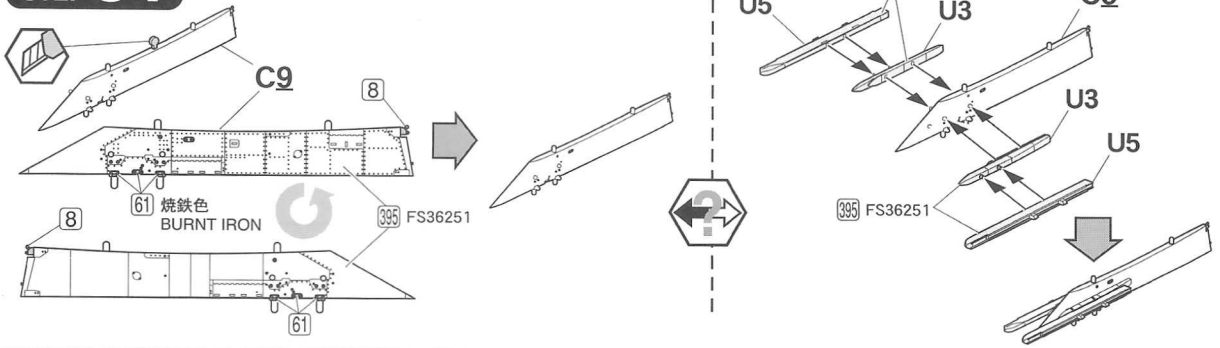
x3 3個作ります
Make 3 pieces



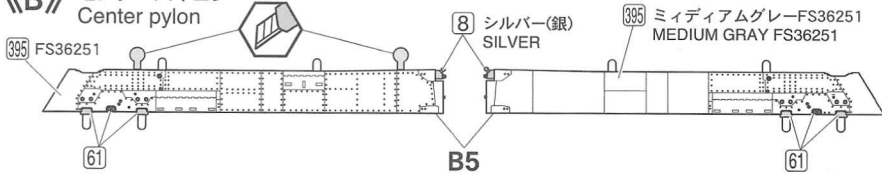
STEP 31

《A》インボードパイロン
Wing pylon

x2 2個作ります
Make 2 pieces



《B》センターパイロン
Center pylon



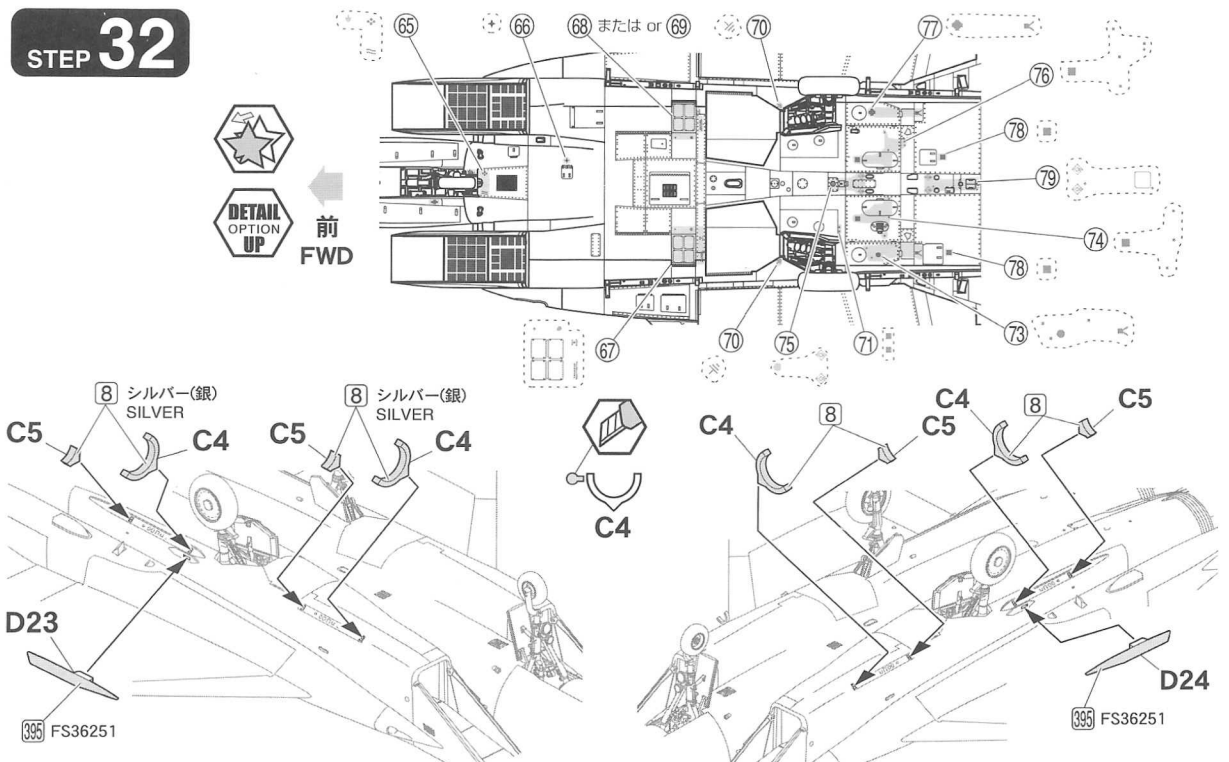
STEP 30

STEP 32



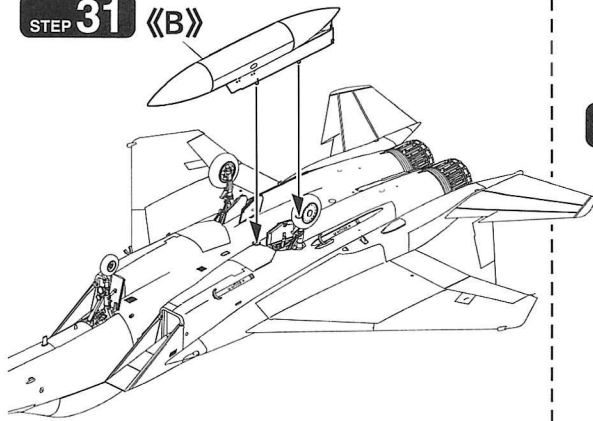
DETAIL
OPTION
UP

前
FWD



STEP 33

STEP 31 《B》



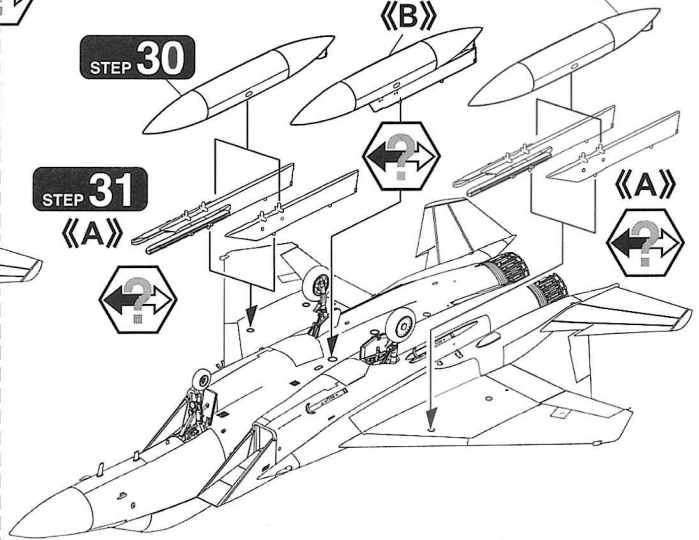
STEP 31

《B》

STEP 30

STEP 31

《A》



カラーナンバー対応表 ※近似色での表示です Color Reference

GSIクレオス・Mr.カラー (□数字)	GSIクレオス・水性カラー	GSIクレオス・アクリジョン	タミヤカラー (アクリル・エナメル)	タミヤカラー (ラッカー)	ガイアノーツ・ガイアカラー	English
C1 ホワイト (白)	H1 ホワイト (白)	N1 ホワイト (白)	X2 ホワイト	LP2 ホワイト	001 ビューホワイト	Gloss White
C3 レッド (赤)	H3 レッド (赤)	N3 レッド (赤)	X7 レッド		003 ブライトレッド	Red
C5 ブルー (青)	H5 ブルー (紺)	N5 ブルー (青)	X4 ブルー		004 ウルトラブルー	Blue
C8 シルバー (銀)	H8 シルバー (銀)	N8 シルバー (銀)	X11 クロームシルバー	LP11 シルバー	009 ブライトシルバー	Silver
C13 ニュートラルグレー	H53 ニュートラルグレー	N22 ニュートラルグレー	XF53 ニュートラルグレイ		073 ニュートラルグレー-III	Neutral Gray
C28 黒鉄色	H18 黒鉄色	N18 黒鉄色	X10 ガンメタル		020 ガンメタル	Gun Metal
C33 つや消しブラック	H12 つや消しブラック	N12 つや消しブラック	XF1 フラットブラック	LP3 フラットブラック	012 フラットブラック	Matt Black
C54 カーキグリーン	H80 カーキグリーン	N80 カーキグリーン	XF58 オリーブグリーン			Khaki Green
C57 青竹色	H63 青竹色	N63 青竹色	X13 メタリックブルー			Metallic Blue Green
C61 焼鉄色	H76 焼鉄色	N76 焼鉄色	XF7+XF56			Burnt Iron
C62 つや消しホワイト	H11 つや消しホワイト	N11 つや消しホワイト	XF2 フラットホワイト	LP4 フラットホワイト	011 フラットホワイト	Matt White
C64 ルマングリーン (黄緑)	H16 イエローグリーン (黄緑)	N16 ルマングリーン (黄緑)				Yellow Green
C137 タイヤブラック	H77 タイヤブラック	N77 タイヤブラック	XF85 ラバーブラック	LP65 ラバーブラック	075 ニュートラルグレー-V	Tire Black
C308 グレー-FS36375						
C316 ホワイトFS17875					071 ニュートラルグレー-I	FS17875
C317 グレー-FS36231			XF54 ダークシーグレイ			FS36231
C327 レッドFS11136			X7 レッド		003 ブライトレッド	FS11136
C394 ダークグレー-FS36176					TL-005 ダークグレー-FS36176	FS36176
C395 ミディアムグレー-FS36251					TL-004 ライトグレー-FS36251	FS36251

■ 部品を破損・紛失された際は

紛失・破損などにより部品を請求される方はランナー (枠) 単位で有償にてお分けいたします。まずは下記の部品構成表を参考に、在庫と価格を右下記載のメールまたはお電話にてお問い合わせください。その際に部品在庫と価格、必要に応じて「郵便振替」「銀行振込」の口座名と番号も説明いたします。いずれのパーツも本構成表1枚につき1キット分に限らせていただきます。製品はプラスチック部品の色や仕様、価格を予告無く変更することがございます。

■ ご注文とお支払い方法

左記部品構成表の各代金は送料と消費税込みの価格です。

●「定額為替」「現金書留」「銀行振込」にてご送金の場合
 メールまたはお電話にて在庫と価格をご確認後、左下欄の部品構成表 (コピー可) の必要ランナー名を○で囲み、お名前・ご住所・電話番号を書き添えたメモを同封いただき、定額為替、現金書留の場合は共に郵送してください。郵便振替または銀行振込にてお支払いの場合は、部品構成表とお振込 (予定) 日・お振込人名を別途郵送ください。
 郵便振替の場合は払込用紙の通信欄に「製品番号、品名、ランナー名 (部品枠)、数量」をご記入ください。
 ご入金を確認でき次第発送いたします。為替手数料あるいは振込手数料、送料はお客様にてご負担ください。切手での送金はお受けできません。ご了承ください。

■ 製品に関するお問い合わせは

有限会社ファインモールド

〒441-3301
 愛知県豊橋市老津町市場53-2
 TEL:0532-23-6810 FAX:0532-23-6811
 ※お電話でのお問い合わせ対応時間：
 土・日・祝、夏期および年末年始の休業日を除く
 午前9時30分～午後5時30分

インターネットホームページ

<https://www.finemolds.co.jp>

Eメールアドレス:
 otemami@finemolds.co.jp

Finemolds ◆部品構成表 2023年12月現在

72954 アメリカ空軍 F-15C 戦闘機 “嘉手納”			
A	¥1200	K	¥500
B	¥1000	M2 (1枚)	¥750
C (1枚)	¥750	T	¥500
D	¥1000	U (1枚)	¥750
E	¥750	X	¥750
F1	¥500	Y	¥500
G2	¥500	デカール	¥750
H4	¥500	説明書	¥500
J	¥500		

●代金引換 (到着時にお支払い) にてご注文の場合
 部品構成表記載のパーツ代金に別途代引き手数料を加算した金額がお支払いの総額です。メールまたはお電話にて在庫と価格をご確認時に、手数料をお伝えします。ご希望の製品番号と製品名・部品番号、お届け先・お電話番号をファックスでお知らせください。ご注文時にいただいたお客様の個人情報は当該商品の発送および発送記録確認以外の目的には用いない事をお約束いたします。

Use Only in Japan

塗装とマーキング

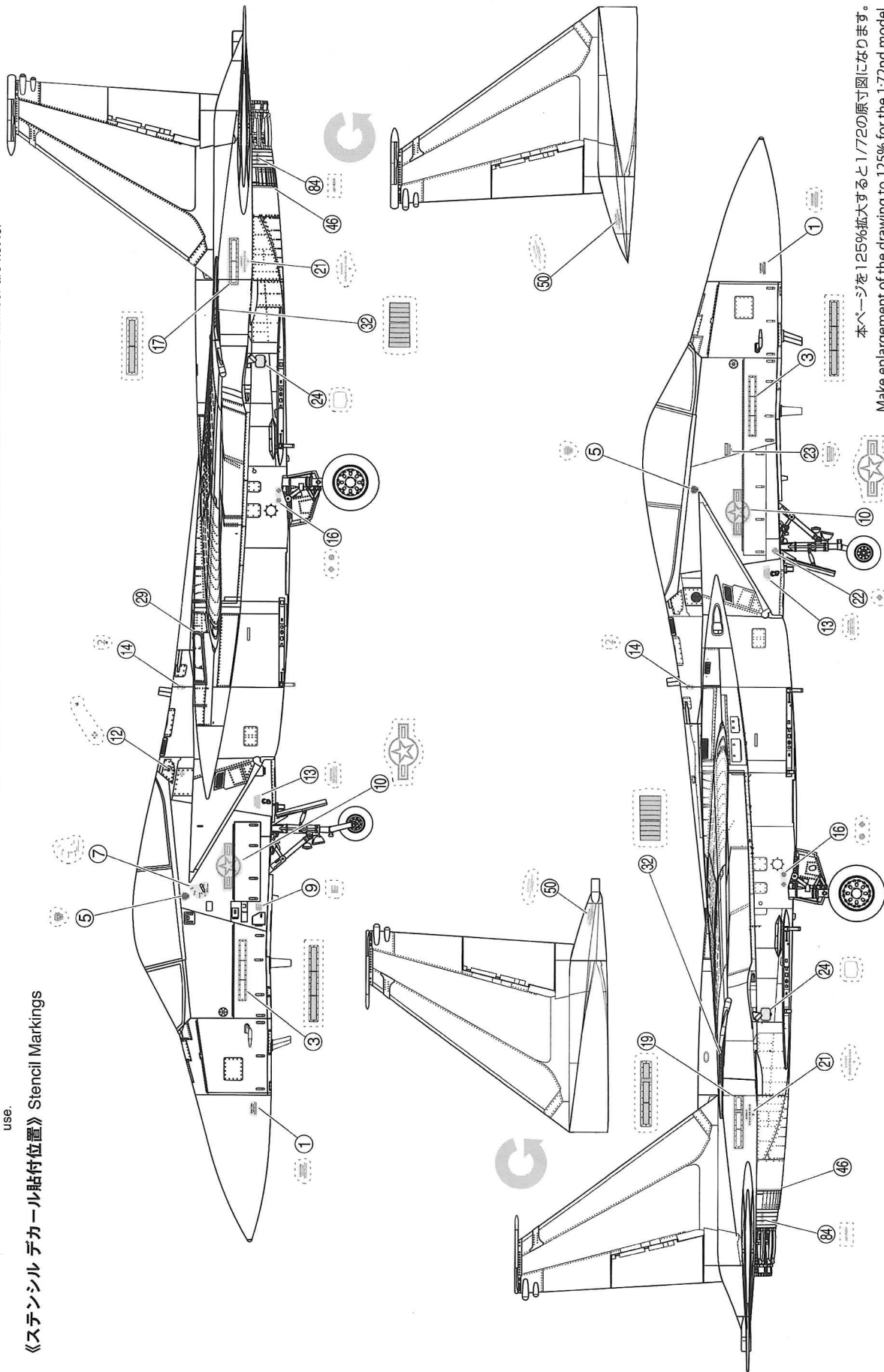
Painting & Marking

塗装色はGSIクレオスMr.カラーの色番号を□内の数字で、続けて色名を指示しています。○で囲まれた数字は付属デカール(水転写シール)の番号です。水性ホビーカラーや新水性カラーアクリリジョン、タミヤカラー、ガイアカラーをご使用の場合はP14のカラーナンバード対応表を参考にしてください。

※細部の塗装は相立図中の説明を参考に、また個別のマーキングはP18からP20の各塗装例もご参考ください。表記の無いデカールは使用しません。

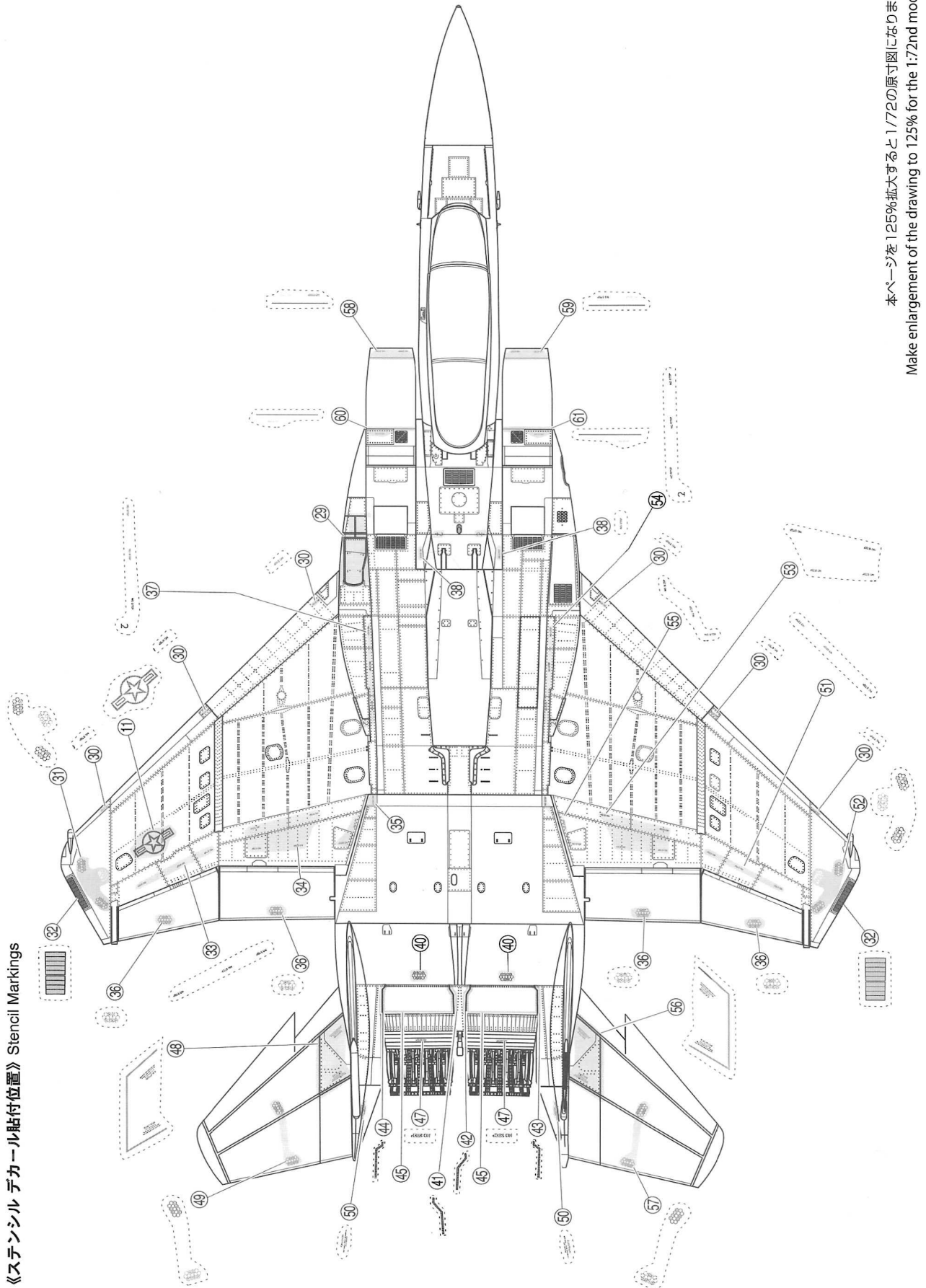
Boxed numbers refer to GSI Creos "Mr. Color" paint color numbers. Circled numbers refer to decal numbers. Decals not shown its number are not for use.

《ステンシル デカール貼付位置》 Stencil Markings



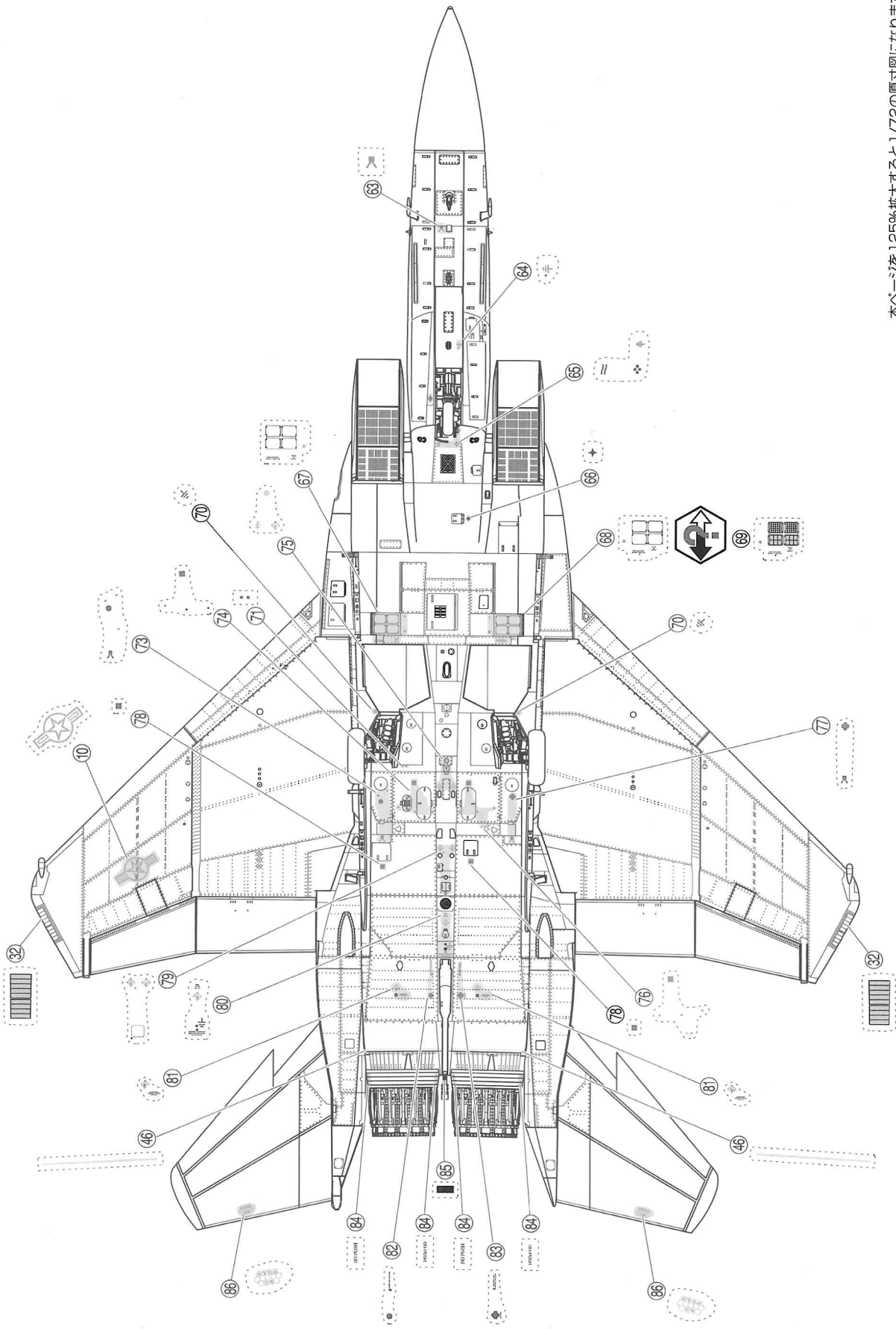
本ページを125%拡大すると1/72の原寸図になります。
Make enlargement of the drawing to 125% for the 1/72nd model.

《ステンシル デカール貼付位置》 Stencil Markings



本ページを125%拡大すると1/72の原寸図になります。
 Make enlargement of the drawing to 125% for the 1:72nd model.

《ステンシル デカール貼付位置》 Stencil Markings

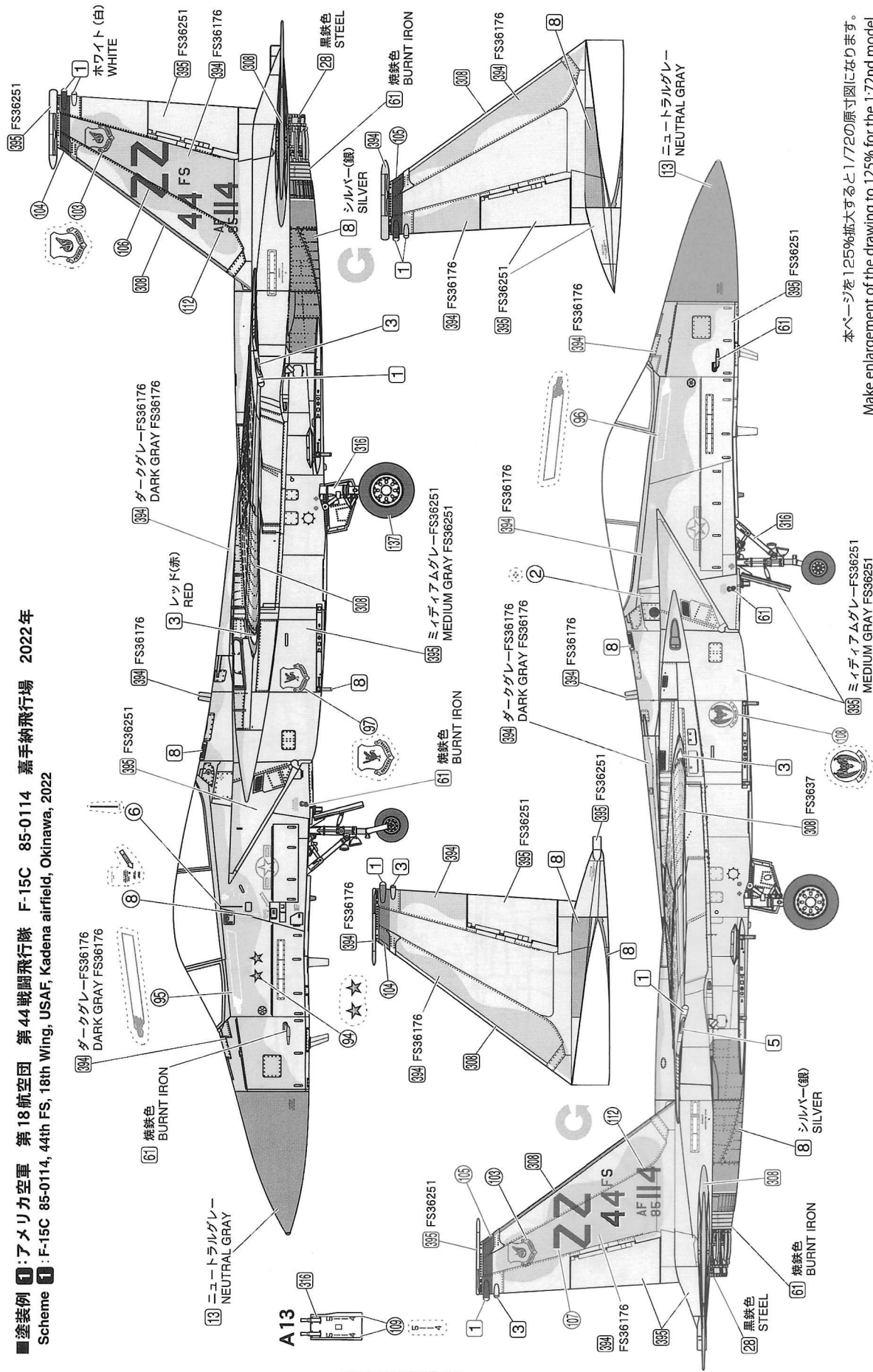


本ページを125%拡大すると1/72の原寸図になります。
Make enlargement of the drawing to 125% for the 1:72nd model.

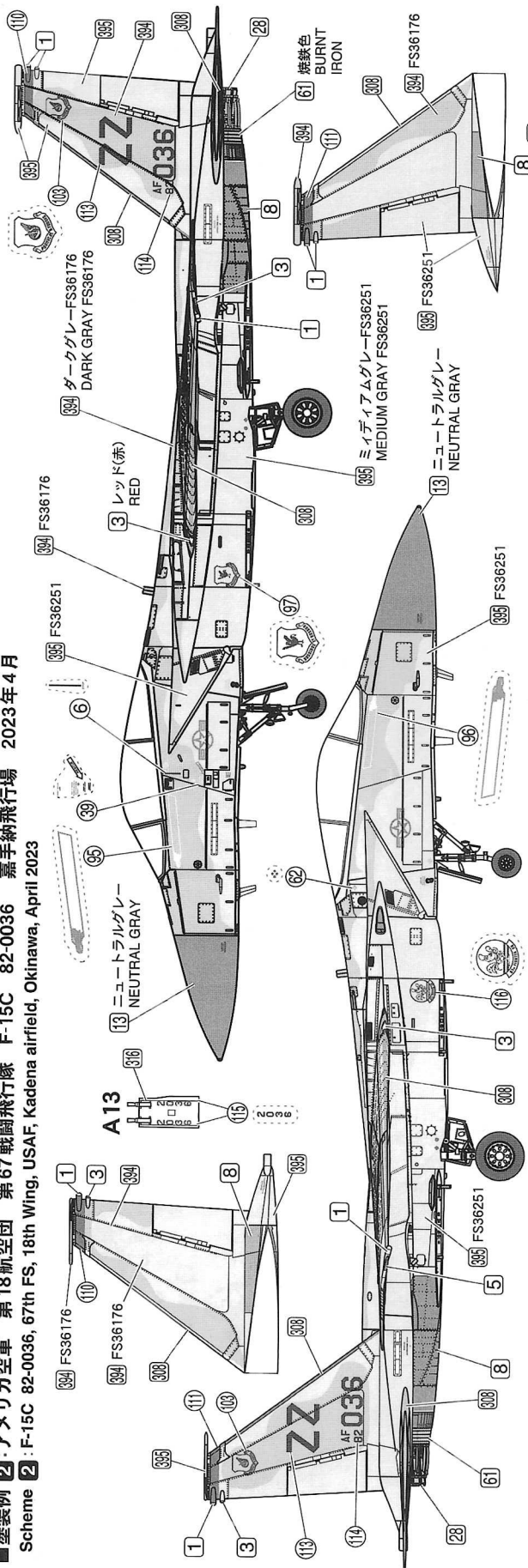
Painting & Marking

- 機体色: 304 ダークグレー-FS36176 DARK GRAY FS36176 305 ミディアムグレー-FS36251 MEDIUM GRAY FS36251 306 グレー-FS36375 GRAY FS36375 307 ホワイトFS17875 WHITE FS17875 308 シルバー(銀) SILVER

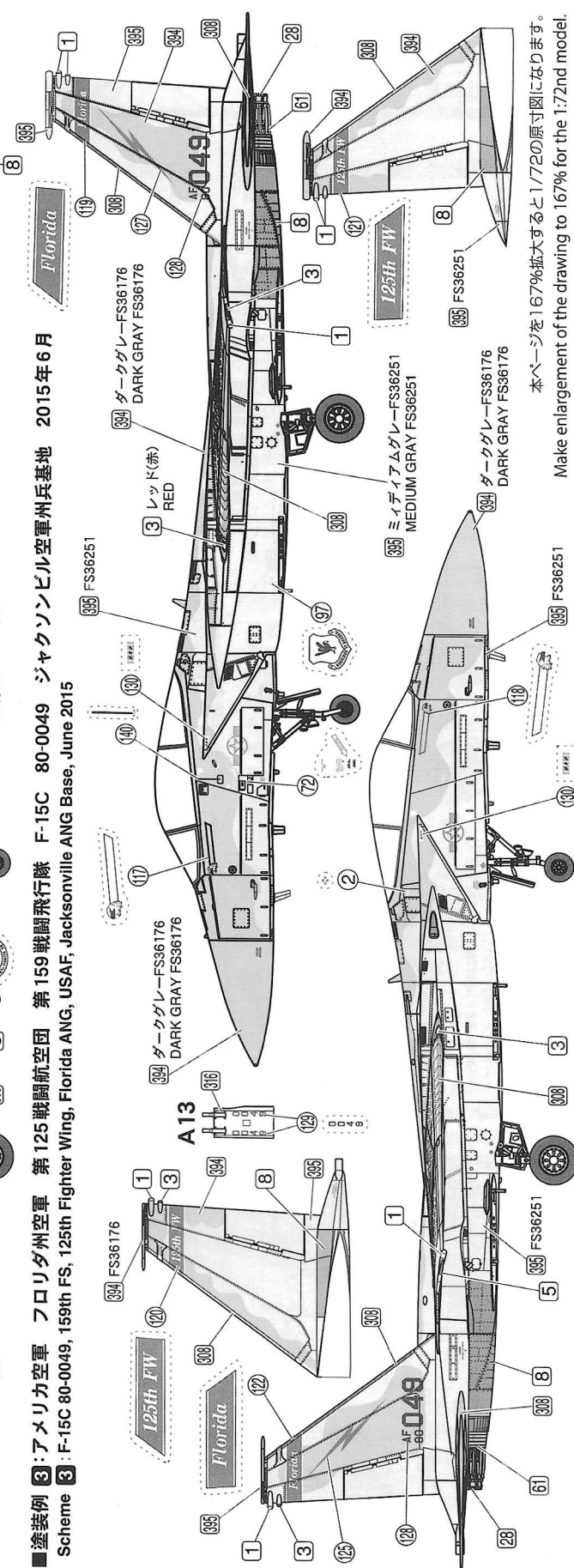
■塗装例 1: アメリカ空軍 第18航空団 第44戦闘飛行隊 F-15C 85-0114 嘉手納飛行場 2022年
 Scheme 1: F-15C 85-0114, 44th FS, 18th Wing, USAF, Kadena airfield, Okinawa, 2022



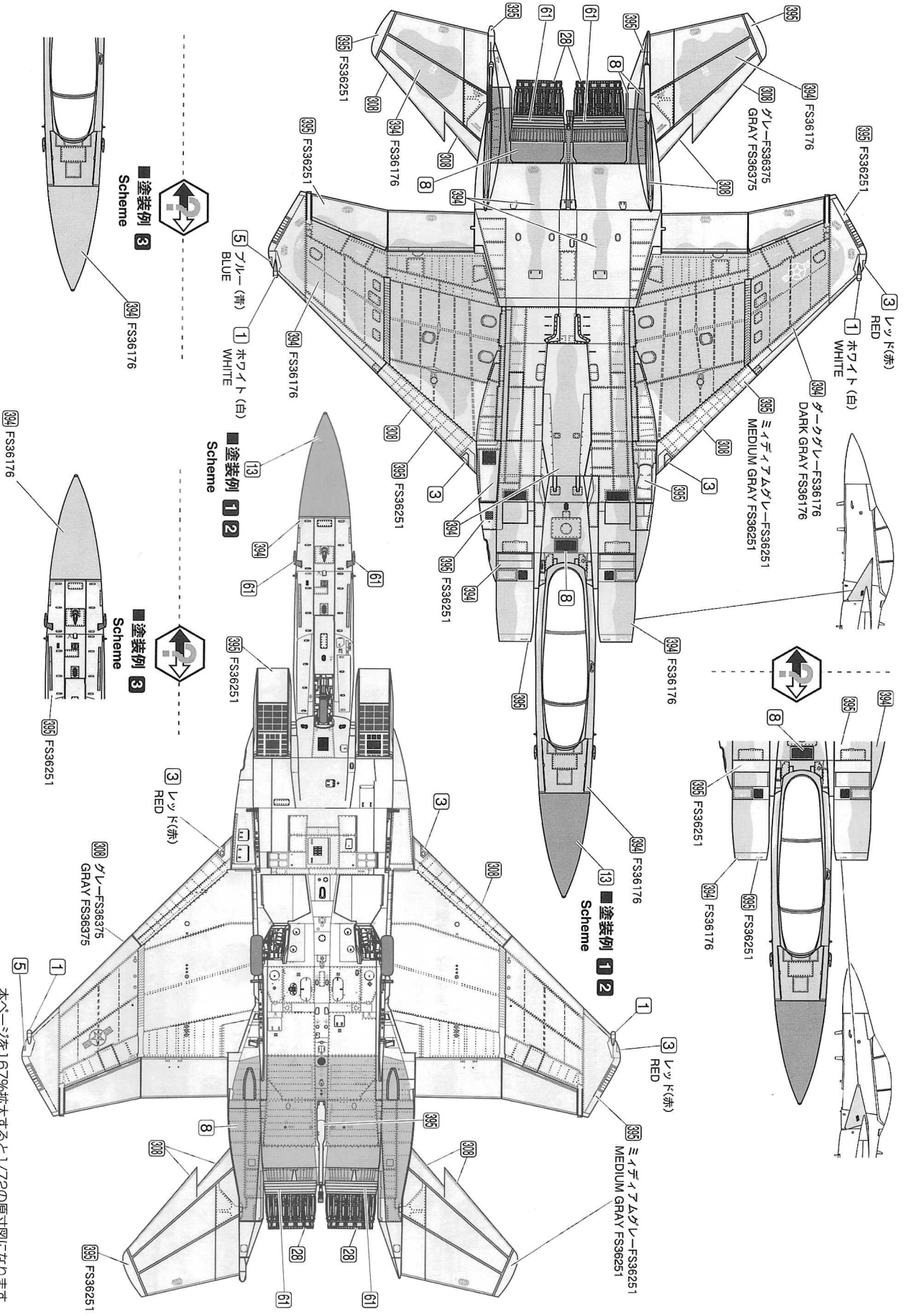
■ 塗装例 2: アメリカ空軍 第18航空団 第67戦闘飛行隊 F-15C 82-0036 嘉手納飛行場 2023年4月
 Scheme 2: F-15C 82-0036, 67th Wing, USAF, Kadena airfield, Okinawa, April 2023



■ 塗装例 3: アメリカ空軍 フロリダ空軍 第125戦闘航空団 第159戦闘飛行隊 F-15C 80-0049 ジャクソンビル空軍州兵基地 2015年6月
 Scheme 3: F-15C 80-0049, 159th Fighter Wing, USAF, Jacksonville ANG Base, June 2015



本ページを167%拡大すると1/72の原寸図になります。
 Make enlargement of the drawing to 167% for the 1/72nd model.



本ページを167%拡大すると1/72の原寸図になります。
 Make enlargement of the drawing to 167% for the 1:72nd model.